

# 全学共通カリキュラム

## 《教育目標》

- ・建学の理念・教育理念について理解を深める。
- ・専門領域を超えて幅広い視点から考える姿勢を養う。
- ・女性の自己確立の基盤となる知識・能力を身につける。
- ・国際化の時代を生き抜く学びの基礎的スキルを身につける。
- ・21 世紀の高度情報化社会に対応できる能力を身につける。

# リベラル・スタディーズ

## 《教育目標》

- ・専門領域を超えた学習により、幅広い視野と深い識見を養い、現代の諸問題に向き合う判断力を身につける。

## (1) 知のかけはし科目

### 《教育目標》

- ・自分の常識や専門を共有しない他者と対話し相互理解を深める能力を身につける。
- ・学問領域の違いを越えた対話や議論、文理双方の学びを交差的に経験することにより、新しい知見に開かれた態度を身につける。
- ・教員とともにオープンな態度で学び続ける知の共同体に参加することによって、卒業後も持続する学びへと導かれ、イノベティヴに社会を再構築する力を習得する。

### 4HS001 人文社会横断型 A

#### 【到達目標】

- (1) 自分の常識や専門を共有しない他者と対話し相互理解を深める能力を身につける。
- (2) 学問領域の違いを越えた対話や議論、文理双方の学びを交差的に経験することにより、新しい知見に開かれた態度を身につける。
- (3) 教員とともにオープンな態度で学び続ける知の共同体に参加することによって、卒業後も持続する学びへと導かれ、イノベティヴに社会を再構築する力を習得する。

【概要】 本授業は、研究領域の異なる2名の教員が1クラスを担当し、学問領域の違いを越えた対話や議論を通して新しい知見や創造的な視座を確立し、社会を再構築する力を修

得することを目的とする。すべての授業回において教員同士または教員と学生、または学生間の議論を取り入れて、多様性と相互理解の重要性の意味を考えさせる。

現代は、人文科学や社会科学といった既存の学問枠組みでは解決できない課題に直面している。本講義では「心」を共通テーマとして、それぞれの専門知を踏まえて両者の境界を対話と議論により越える可能性を模索し、創造的な解決策を追求する。

#### 4HS002 人文社会横断型 B

##### 【到達目標】

- (1) 自分の常識や専門を共有しない他者と対話し相互理解を深める能力を身につける。
- (2) 学問領域の違いを越えた対話や議論、文理双方の学びを交差的に経験することにより、新しい知見に開かれた態度を身につける。
- (3) 教員とともにオープンな態度で学び続ける知の共同体に参加することによって、卒業後も持続する学びへと導かれ、イノベーティブに社会を再構築する力を習得する。

【概要】 本授業は、研究領域の異なる2名の教員が1クラスを担当し、学問領域の違いを越えた対話や議論を通して新しい知見や創造的な視座を確立し、社会を再構築する力を修得することを目的とする。すべての授業回において教員同士または教員と学生、または学生間の議論を取り入れて、多様性と相互理解の重要性の意味を考えさせる。

現代は、人文科学や社会科学といった既存の学問枠組みでは解決できない課題に直面している。本講義では「ことば」を共通テーマとして、それぞれの専門知を踏まえて両者の境界を対話と議論により越える可能性を模索し、創造的な解決策を追求する。

#### 4HS003 人文社会横断型 C

##### 【到達目標】

- (1) 自分の常識や専門を共有しない他者と対話し相互理解を深める能力を身につける。
- (2) 学問領域の違いを越えた対話や議論、文理双方の学びを交差的に経験することにより、新しい知見に開かれた態度を身につける。
- (3) 教員とともにオープンな態度で学び続ける知の共同体に参加することによって、卒業後も持続する学びへと導かれ、イノベーティブに社会を再構築する力を習得する。

【概要】 本授業は、研究領域の異なる2名の教員が1クラスを担当し、学問領域の違いを越えた対話や議論を通して新しい知見や創造的な視座を確立し、社会を再構築する力を修得することを目的とする。すべての授業回において教員同士または教員と学生、または学生間の議論を取り入れて、多様性と相互理解の重要性の意味を考えさせる。

現代は、人文科学や社会科学といった既存の学問枠組みでは解決できない課題に直面している。本講義では「平和」を共通テーマとして、それぞれの専門知を踏まえて両者の境界を対話と議論により越える可能性を模索し、創造的な解決策を追求する。

#### 4HS004 人文社会横断型 D

##### 【到達目標】

- (1) 自分の常識や専門を共有しない他者と対話し相互理解を深める能力を身につける。
- (2) 学問領域の違いを越えた対話や議論、文理双方の学びを交差的に経験することにより、新しい知見に開かれた態度を身につける。
- (3) 教員とともにオープンな態度で学び続ける知の共同体に参加することによって、卒業後も持続する学びへと導かれ、イノベーティブに社会を再構築する力を習得する。

【概要】 本授業は、研究領域の異なる2名の教員が1クラスを担当し、学問領域の違いを越えた対話や議論を通して新しい知見や創造的な視座を確立し、社会を再構築する力を修得することを目的とする。すべての授業回において教員同士または教員と学生、または学生間の議論を取り入れて、多様性と相互理解の重要性の意味を考えさせる。

現代は、人文科学や社会科学といった既存の学問枠組みでは解決できない課題に直面している。本講義では「人と自然」を共通テーマとして、それぞれの専門知を踏まえて両者の境界を対話と議論により越える可能性を模索し、創造的な解決策を追求する。

#### 4HS005 人文社会横断型 E

##### 【到達目標】

- (1) 自分の常識や専門を共有しない他者と対話し相互理解を深める能力を身につける。
- (2) 学問領域の違いを越えた対話や議論、文理双方の学びを交差的に経験することにより、新しい知見に開かれた態度を身につける。
- (3) 教員とともにオープンな態度で学び続ける知の共同体に参加することによって、卒業後も持続する学びへと導かれ、イノベーティブに社会を再構築する力を習得する。

【概要】 本授業は、研究領域の異なる2名の教員が1クラスを担当し、学問領域の違いを越えた対話や議論を通して新しい知見や創造的な視座を確立し、社会を再構築する力を修得することを目的とする。すべての授業回において教員同士または教員と学生、または学生間の議論を取り入れて、多様性と相互理解の重要性の意味を考えさせる。

現代は、人文科学や社会科学といった既存の学問枠組みでは解決できない課題に直面している。本講義では「コミュニケーション」を共通テーマとして、それぞれの専門知を踏まえて両者の境界を対話と議論により越える可能性を模索し、創造的な解決策を追求する。

#### 4HS006 人文社会横断型 F

##### 【到達目標】

- (1) 自分の常識や専門を共有しない他者と対話し相互理解を深める能力を身につける。
- (2) 学問領域の違いを越えた対話や議論、文理双方の学びを交差的に経験することにより、新しい知見に開かれた態度を身につける。
- (3) 教員とともにオープンな態度で学び続ける知の共同体に参加することによって、卒業

後も持続する学びへと導かれ、イノベーティブに社会を再構築する力を習得する。

**【概要】** 本授業は、研究領域の異なる2名の教員が1クラスを担当し、学問領域の違いを越えた対話や議論を通して新しい知見や創造的な視座を確立し、社会を再構築する力を修得することを目的とする。すべての授業回において教員同士または教員と学生、または学生間の議論を取り入れて、多様性と相互理解の重要性の意味を考えさせる。

現代は、人文科学や社会科学といった既存の学問枠組みでは解決できない課題に直面している。本講義では「イメージと表象」を共通テーマとして、それぞれの専門知を踏まえて両者の境界を対話と議論により越える可能性を模索し、創造的な解決策を追求する。

#### 4HS007 人文社会横断型 G

##### 【到達目標】

- (1) 自分の常識や専門を共有しない他者と対話し相互理解を深める能力を身につける。
- (2) 学問領域の違いを越えた対話や議論、文理双方の学びを交差的に経験することにより、新しい知見に開かれた態度を身につける。
- (3) 教員とともにオープンな態度で学び続ける知の共同体に参加することによって、卒業後も持続する学びへと導かれ、イノベーティブに社会を再構築する力を習得する。

**【概要】** 本授業は、研究領域の異なる2名の教員が1クラスを担当し、学問領域の違いを越えた対話や議論を通して新しい知見や創造的な視座を確立し、社会を再構築する力を修得することを目的とする。すべての授業回において教員同士または教員と学生、または学生間の議論を取り入れて、多様性と相互理解の重要性の意味を考えさせる。

現代は、人文科学や社会科学といった既存の学問枠組みでは解決できない課題に直面している。本講義では「思考の囚われからの解放を目指して」を共通テーマとして、それぞれの専門知を踏まえて両者の境界を対話と議論により越える可能性を模索し、創造的な解決策を追求する。

#### 4HS008 人文社会横断型 H

##### 【到達目標】

- (1) 自分の常識や専門を共有しない他者と対話し相互理解を深める能力を身につける。
- (2) 学問領域の違いを越えた対話や議論、文理双方の学びを交差的に経験することにより、新しい知見に開かれた態度を身につける。
- (3) 教員とともにオープンな態度で学び続ける知の共同体に参加することによって、卒業後も持続する学びへと導かれ、イノベーティブに社会を再構築する力を習得する。

**【概要】** 本授業は、研究領域の異なる2名の教員が1クラスを担当し、学問領域の違いを越えた対話や議論を通して新しい知見や創造的な視座を確立し、社会を再構築する力を修得することを目的とする。すべての授業回において教員同士または教員と学生、または学生間の議論を取り入れて、多様性と相互理解の重要性の意味を考えさせる。

現代は、人文科学や社会科学といった既存の学問枠組みでは解決できない課題に直面している。本講義では「イギリス」を共通テーマとして、それぞれの専門知を踏まえて両者の境界を対話と議論により越える可能性を模索し、創造的な解決策を追求する。

#### 4HS009 人文社会横断型 I

##### 【到達目標】

- (1) 自分の常識や専門を共有しない他者と対話し相互理解を深める能力を身につける。
- (2) 学問領域の違いを越えた対話や議論、文理双方の学びを交差的に経験することにより、新しい知見に開かれた態度を身につける。
- (3) 教員とともにオープンな態度で学び続ける知の共同体に参加することによって、卒業後も持続する学びへと導かれ、イノベーティブに社会を再構築する力を習得する。

**【概要】** 本授業は、研究領域の異なる2名の教員が1クラスを担当し、学問領域の違いを越えた対話や議論を通して新しい知見や創造的な視座を確立し、社会を再構築する力を修得することを目的とする。すべての授業回において教員同士または教員と学生、または学生間の議論を取り入れて、多様性と相互理解の重要性の意味を考えさせる。

現代は、人文科学や社会科学といった既存の学問枠組みでは解決できない課題に直面している。本講義では「人権/human rights」を共通テーマとして、それぞれの専門知を踏まえて両者の境界を対話と議論により越える可能性を模索し、創造的な解決策を追求する。

#### 4HS010 人文社会横断型 J

##### 【到達目標】

- (1) 自分の常識や専門を共有しない他者と対話し相互理解を深める能力を身につける。
- (2) 学問領域の違いを越えた対話や議論、文理双方の学びを交差的に経験することにより、新しい知見に開かれた態度を身につける。
- (3) 教員とともにオープンな態度で学び続ける知の共同体に参加することによって、卒業後も持続する学びへと導かれ、イノベーティブに社会を再構築する力を習得する。

**【概要】** 本授業は、研究領域の異なる2名の教員が1クラスを担当し、学問領域の違いを越えた対話や議論を通して新しい知見や創造的な視座を確立し、社会を再構築する力を修得することを目的とする。すべての授業回において教員同士または教員と学生、または学生間の議論を取り入れて、多様性と相互理解の重要性の意味を考えさせる。

現代は、人文科学や社会科学といった既存の学問枠組みでは解決できない課題に直面している。本講義では「ヨーロッパと人文学」を共通テーマとして、それぞれの専門知を踏まえて両者の境界を対話と議論により越える可能性を模索し、創造的な解決策を追求する。

#### 4HS011 人文社会横断型 K

##### 【到達目標】

- (1) 自分の常識や専門を共有しない他者と対話し相互理解を深める能力を身につける。
- (2) 学問領域の違いを越えた対話や議論、文理双方の学びを交差的に経験することにより、新しい知見に開かれた態度を身につける。
- (3) 教員とともにオープンな態度で学び続ける知の共同体に参加することによって、卒業後も持続する学びへと導かれ、イノベーティブに社会を再構築する力を習得する。

**【概要】** 本授業は、研究領域の異なる2名の教員が1クラスを担当し、学問領域の違いを越えた対話や議論を通して新しい知見や創造的な視座を確立し、社会を再構築する力を修得することを目的とする。すべての授業回において教員同士または教員と学生、または学生間の議論を取り入れて、多様性と相互理解の重要性の意味を考えさせる。

現代は、人文科学や社会科学といった既存の学問枠組みでは解決できない課題に直面している。本講義では「ヨーロッパの文化遺産」を共通テーマとして、それぞれの専門知を踏まえて両者の境界を対話と議論により越える可能性を模索し、創造的な解決策を追求する。

#### 4HS012 人文社会横断型 L

##### 【到達目標】

- (1) 自分の常識や専門を共有しない他者と対話し相互理解を深める能力を身につける。
- (2) 学問領域の違いを越えた対話や議論、文理双方の学びを交差的に経験することにより、新しい知見に開かれた態度を身につける。
- (3) 教員とともにオープンな態度で学び続ける知の共同体に参加することによって、卒業後も持続する学びへと導かれ、イノベーティブに社会を再構築する力を習得する。

**【概要】** 本授業は、研究領域の異なる2名の教員が1クラスを担当し、学問領域の違いを越えた対話や議論を通して新しい知見や創造的な視座を確立し、社会を再構築する力を修得することを目的とする。すべての授業回において教員同士または教員と学生、または学生間の議論を取り入れて、多様性と相互理解の重要性の意味を考えさせる。

現代は、人文科学や社会科学といった既存の学問枠組みでは解決できない課題に直面している。本講義では「日本のキリスト教と国際社会」を共通テーマとして、それぞれの専門知を踏まえて両者の境界を対話と議論により越える可能性を模索し、創造的な解決策を追求する。

#### 4HS013 人文社会横断型 M

##### 【到達目標】

- (1) 自分の常識や専門を共有しない他者と対話し相互理解を深める能力を身につける。
- (2) 学問領域の違いを越えた対話や議論、文理双方の学びを交差的に経験することにより、新しい知見に開かれた態度を身につける。
- (3) 教員とともにオープンな態度で学び続ける知の共同体に参加することによって、卒業後も持続する学びへと導かれ、イノベーティブに社会を再構築する力を習得する。

**【概要】** 本授業は、研究領域の異なる2名の教員が1クラスを担当し、学問領域の違いを越えた対話や議論を通して新しい知見や創造的な視座を確立し、社会を再構築する力を修得することを目的とする。すべての授業回において教員同士または教員と学生、または学生間の議論を取り入れて、多様性と相互理解の重要性の意味を考えさせる。現代は、人文科学や社会科学といった既存の学問枠組みでは解決できない課題に直面している。本講義では「自然」を共通テーマとして、それぞれの専門知を踏まえて両者の境界を対話と議論により越える可能性を模索し、創造的な解決策を追求する。

#### 4HS014 人文社会横断型 N

##### 【到達目標】

- (1) 自分の常識や専門を共有しない他者と対話し相互理解を深める能力を身につける。
- (2) 学問領域の違いを越えた対話や議論、文理双方の学びを交差的に経験することにより、新しい知見に開かれた態度を身につける。
- (3) 教員とともにオープンな態度で学び続ける知の共同体に参加することによって、卒業後も持続する学びへと導かれ、イノベーティブに社会を再構築する力を習得する。

**【概要】** 本授業は、研究領域の異なる2名の教員が1クラスを担当し、学問領域の違いを越えた対話や議論を通して新しい知見や創造的な視座を確立し、社会を再構築する力を修得することを目的とする。すべての授業回において教員同士または教員と学生、または学生間の議論を取り入れて、多様性と相互理解の重要性の意味を考えさせる。現代は、人文科学や社会科学といった既存の学問枠組みでは解決できない課題に直面している。本講義では「自己について」を共通テーマとして、それぞれの専門知を踏まえて両者の境界を対話と議論により越える可能性を模索し、創造的な解決策を追求する。

#### 4HS015 人文社会横断型 O

##### 【到達目標】

- (1) 自分の常識や専門を共有しない他者と対話し相互理解を深める能力を身につける。
- (2) 学問領域の違いを越えた対話や議論、文理双方の学びを交差的に経験することにより、新しい知見に開かれた態度を身につける。
- (3) 教員とともにオープンな態度で学び続ける知の共同体に参加することによって、卒業後も持続する学びへと導かれ、イノベーティブに社会を再構築する力を習得する。

**【概要】** 本授業は、研究領域の異なる2名の教員が1クラスを担当し、学問領域の違いを越えた対話や議論を通して新しい知見や創造的な視座を確立し、社会を再構築する力を修得することを目的とする。すべての授業回において教員同士または教員と学生、または学生間の議論を取り入れて、多様性と相互理解の重要性の意味を考えさせる。現代は、人文科学や社会科学といった既存の学問枠組みでは解決できない課題に直面している。本講義では「アジア」を共通テーマとして、それぞれの専門知を踏まえて両者の境

界を対話と議論により越える可能性を模索し、創造的な解決策を追求する。

#### 4HS016 人文社会横断型 P

##### 【到達目標】

- (1) 自分の常識や専門を共有しない他者と対話し相互理解を深める能力を身につける。
- (2) 学問領域の違いを越えた対話や議論、文理双方の学びを交差的に経験することにより、新しい知見に開かれた態度を身につける。
- (3) 教員とともにオープンな態度で学び続ける知の共同体に参加することによって、卒業後も持続する学びへと導かれ、イノベーティブに社会を再構築する力を習得する。

**【概要】** 本授業は、研究領域の異なる2名の教員が1クラスを担当し、学問領域の違いを越えた対話や議論を通して新しい知見や創造的な視座を確立し、社会を再構築する力を修得することを目的とする。すべての授業回において教員同士または教員と学生、または学生間の議論を取り入れて、多様性と相互理解の重要性の意味を考えさせる。

現代は、人文科学や社会科学といった既存の学問枠組みでは解決できない課題に直面している。本講義では「古典文学のこころとことば」を共通テーマとして、それぞれの専門知を踏まえて両者の境界を対話と議論により越える可能性を模索し、創造的な解決策を追求する。

#### 4HS017 人文社会横断型 Q

##### 【到達目標】

- (1) 自分の常識や専門を共有しない他者と対話し相互理解を深める能力を身につける。
- (2) 学問領域の違いを越えた対話や議論、文理双方の学びを交差的に経験することにより、新しい知見に開かれた態度を身につける。
- (3) 教員とともにオープンな態度で学び続ける知の共同体に参加することによって、卒業後も持続する学びへと導かれ、イノベーティブに社会を再構築する力を習得する。

**【概要】** 本授業は、研究領域の異なる2名の教員が1クラスを担当し、学問領域の違いを越えた対話や議論を通して新しい知見や創造的な視座を確立し、社会を再構築する力を修得することを目的とする。すべての授業回において教員同士または教員と学生、または学生間の議論を取り入れて、多様性と相互理解の重要性の意味を考えさせる。

現代は、人文科学や社会科学といった既存の学問枠組みでは解決できない課題に直面している。本講義では「日本人の認識」を共通テーマとして、それぞれの専門知を踏まえて両者の境界を対話と議論により越える可能性を模索し、創造的な解決策を追求する。

#### 4HS018 人文社会横断型 R

##### 【到達目標】

- (1) 自分の常識や専門を共有しない他者と対話し相互理解を深める能力を身につける。

(2) 学問領域の違いを越えた対話や議論、文理双方の学びを交差的に経験することにより、新しい知見に開かれた態度を身につける。

(3) 教員とともにオープンな態度で学び続ける知の共同体に参加することによって、卒業後も持続する学びへと導かれ、イノベーティブに社会を再構築する力を習得する。

**【概要】** 本授業は、研究領域の異なる2名の教員が1クラスを担当し、学問領域の違いを越えた対話や議論を通して新しい知見や創造的な視座を確立し、社会を再構築する力を修得することを目的とする。すべての授業回において教員同士または教員と学生、または学生間の議論を取り入れて、多様性と相互理解の重要性の意味を考えさせる。

現代は、人文科学や社会科学といった既存の学問枠組みでは解決できない課題に直面している。本講義では「現代思想」を共通テーマとして、それぞれの専門知を踏まえて両者の境界を対話と議論により越える可能性を模索し、創造的な解決策を追求する。

#### 4HS019 人文社会横断型 S

##### 【到達目標】

(1) 自分の常識や専門を共有しない他者と対話し相互理解を深める能力を身につける。

(2) 学問領域の違いを越えた対話や議論、文理双方の学びを交差的に経験することにより、新しい知見に開かれた態度を身につける。

(3) 教員とともにオープンな態度で学び続ける知の共同体に参加することによって、卒業後も持続する学びへと導かれ、イノベーティブに社会を再構築する力を習得する。

**【概要】** 本授業は、研究領域の異なる2名の教員が1クラスを担当し、学問領域の違いを越えた対話や議論を通して新しい知見や創造的な視座を確立し、社会を再構築する力を修得することを目的とする。すべての授業回において教員同士または教員と学生、または学生間の議論を取り入れて、多様性と相互理解の重要性の意味を考えさせる。

現代は、人文科学や社会科学といった既存の学問枠組みでは解決できない課題に直面している。本講義では「家族」を共通テーマとして、それぞれの専門知を踏まえて両者の境界を対話と議論により越える可能性を模索し、創造的な解決策を追求する。

#### 4HS020 人文社会横断型 T

##### 【到達目標】

(1) 自分の常識や専門を共有しない他者と対話し相互理解を深める能力を身につける。

(2) 学問領域の違いを越えた対話や議論、文理双方の学びを交差的に経験することにより、新しい知見に開かれた態度を身につける。

(3) 教員とともにオープンな態度で学び続ける知の共同体に参加することによって、卒業後も持続する学びへと導かれ、イノベーティブに社会を再構築する力を習得する。

**【概要】** 本授業は、研究領域の異なる2名の教員が1クラスを担当し、学問領域の違いを越えた対話や議論を通して新しい知見や創造的な視座を確立し、社会を再構築する力を修

得することを目的とする。すべての授業回において教員同士または教員と学生、または学生間の議論を取り入れて、多様性と相互理解の重要性の意味を考えさせる。

現代は、人文科学や社会科学といった既存の学問枠組みでは解決できない課題に直面している。本講義では「開発とは何か」を共通テーマとして、それぞれの専門知を踏まえて両者の境界を対話と議論により越える可能性を模索し、創造的な解決策を追求する。

#### 4HS021 人文社会横断型 U

##### 【到達目標】

- (1) 自分の常識や専門を共有しない他者と対話し相互理解を深める能力を身につける。
- (2) 学問領域の違いを越えた対話や議論、文理双方の学びを交差的に経験することにより、新しい知見に開かれた態度を身につける。
- (3) 教員とともにオープンな態度で学び続ける知の共同体に参加することによって、卒業後も持続する学びへと導かれ、イノベーティブに社会を再構築する力を習得する。

【概要】 本授業は、研究領域の異なる2名の教員が1クラスを担当し、学問領域の違いを越えた対話や議論を通して新しい知見や創造的な視座を確立し、社会を再構築する力を修得することを目的とする。すべての授業回において教員同士または教員と学生、または学生間の議論を取り入れて、多様性と相互理解の重要性の意味を考えさせる。

現代は、人文科学や社会科学といった既存の学問枠組みでは解決できない課題に直面している。本講義では「デザイン」を共通テーマとして、それぞれの専門知を踏まえて両者の境界を対話と議論により越える可能性を模索し、創造的な解決策を追求する。

#### 4HS022 人文社会横断型 V

##### 【到達目標】

- (1) 自分の常識や専門を共有しない他者と対話し相互理解を深める能力を身につける。
- (2) 学問領域の違いを越えた対話や議論、文理双方の学びを交差的に経験することにより、新しい知見に開かれた態度を身につける。
- (3) 教員とともにオープンな態度で学び続ける知の共同体に参加することによって、卒業後も持続する学びへと導かれ、イノベーティブに社会を再構築する力を習得する。

【概要】 本授業は、研究領域の異なる2名の教員が1クラスを担当し、学問領域の違いを越えた対話や議論を通して新しい知見や創造的な視座を確立し、社会を再構築する力を修得することを目的とする。すべての授業回において教員同士または教員と学生、または学生間の議論を取り入れて、多様性と相互理解の重要性の意味を考えさせる。

現代は、人文科学や社会科学といった既存の学問枠組みでは解決できない課題に直面している。本講義では「ダイバーシティ」を共通テーマとして、それぞれの専門知を踏まえて両者の境界を対話と議論により越える可能性を模索し、創造的な解決策を追求する。

## ■実践

### 4HS023 人文社会横断型 W

#### 【到達目標】

- (1) 自分の常識や専門を共有しない他者と対話し相互理解を深める能力を身につける。
- (2) 学問領域の違いを越えた対話や議論、文理双方の学びを交差的に経験することにより、新しい知見に開かれた態度を身につける。
- (3) 教員とともにオープンな態度で学び続ける知の共同体に参加することによって、卒業後も持続する学びへと導かれ、イノベーティブに社会を再構築する力を習得する。

**【概要】** 本授業は、研究領域の異なる2名の教員が1クラスを担当し、学問領域の違いを越えた対話や議論を通して新しい知見や創造的な視座を確立し、社会を再構築する力を修得することを目的とする。すべての授業回において教員同士または教員と学生、または学生間の議論を取り入れて、多様性と相互理解の重要性の意味を考えさせる。

現代は、人文科学や社会科学といった既存の学問枠組みでは解決できない課題に直面している。本講義では「北東アジア」を共通テーマとして、それぞれの専門知を踏まえて両者の境界を対話と議論により越える可能性を模索し、創造的な解決策を追求する。

### 4HS024 人文社会横断型 X

#### 【到達目標】

- (1) 自分の常識や専門を共有しない他者と対話し相互理解を深める能力を身につける。
- (2) 学問領域の違いを越えた対話や議論、文理双方の学びを交差的に経験することにより、新しい知見に開かれた態度を身につける。
- (3) 教員とともにオープンな態度で学び続ける知の共同体に参加することによって、卒業後も持続する学びへと導かれ、イノベーティブに社会を再構築する力を習得する。

**【概要】** 本授業は、研究領域の異なる2名の教員が1クラスを担当し、学問領域の違いを越えた対話や議論を通して新しい知見や創造的な視座を確立し、社会を再構築する力を修得することを目的とする。すべての授業回において教員同士または教員と学生、または学生間の議論を取り入れて、多様性と相互理解の重要性の意味を考えさせる。

現代は、人文科学や社会科学といった既存の学問枠組みでは解決できない課題に直面している。本講義では「ヘルスケア」を共通テーマとして、それぞれの専門知を踏まえて両者の境界を対話と議論により越える可能性を模索し、創造的な解決策を追求する。

### 4HS025 人文社会横断型 Y

#### 【到達目標】

- (1) 自分の常識や専門を共有しない他者と対話し相互理解を深める能力を身につける。
- (2) 学問領域の違いを越えた対話や議論、文理双方の学びを交差的に経験することにより、

新しい知見に開かれた態度を身につける。

(3) 教員とともにオープンな態度で学び続ける知の共同体に参加することによって、卒業後も持続する学びへと導かれ、イノベーティブに社会を再構築する力を習得する。

**【概要】** 本授業は、研究領域の異なる2名の教員が1クラスを担当し、学問領域の違いを越えた対話や議論を通して新しい知見や創造的な視座を確立し、社会を再構築する力を修得することを目的とする。すべての授業回において教員同士または教員と学生、または学生間の議論を取り入れて、多様性と相互理解の重要性の意味を考えさせる。

現代は、人文科学や社会科学といった既存の学問枠組みでは解決できない課題に直面している。本講義では「命」を共通テーマとして、それぞれの専門知を踏まえて両者の境界を対話と議論により越える可能性を模索し、創造的な解決策を追求する。

#### 4HS026 人文社会横断型 Z

##### 【到達目標】

- (1) 自分の常識や専門を共有しない他者と対話し相互理解を深める能力を身につける。
- (2) 学問領域の違いを越えた対話や議論、文理双方の学びを交差的に経験することにより、新しい知見に開かれた態度を身につける。
- (3) 教員とともにオープンな態度で学び続ける知の共同体に参加することによって、卒業後も持続する学びへと導かれ、イノベーティブに社会を再構築する力を習得する。

**【概要】** 本授業は、研究領域の異なる2名の教員が1クラスを担当し、学問領域の違いを越えた対話や議論を通して新しい知見や創造的な視座を確立し、社会を再構築する力を修得することを目的とする。すべての授業回において教員同士または教員と学生、または学生間の議論を取り入れて、多様性と相互理解の重要性の意味を考えさせる。

現代は、人文科学や社会科学といった既存の学問枠組みでは解決できない課題に直面している。本講義では「英語文学と日本語文学との交流」を共通テーマとして、それぞれの専門知を踏まえて両者の境界を対話と議論により越える可能性を模索し、創造的な解決策を追求する。

#### 4NS001 自然科学包含型 A

##### 【到達目標】

- (1) 自分の常識や専門を共有しない他者と対話し相互理解を深める能力を身につける。
- (2) 学問領域の違いを越えた対話や議論、文理双方の学びを交差的に経験することにより、新しい知見に開かれた態度を身につける。
- (3) 教員とともにオープンな態度で学び続ける知の共同体に参加することによって、卒業後も持続する学びへと導かれ、イノベーティブに社会を再構築する力を習得する。

**【概要】** 本授業は、研究領域の異なる2名の教員が1クラスを担当し、学問領域の違いを越えた対話や議論を通して新しい知見や創造的な視座を確立し、社会を再構築する力を修

得することを目的とする。すべての授業回において教員同士または教員と学生、または学生間の議論を取り入れて、多様性と相互理解の重要性の意味を考えさせる。

今日では、従来の文系／理系を越える多角的視野が不可欠である。本講義では、「社会変容」を共通テーマとして、人文科学や社会科学を越えて、自然科学の専門知をも踏まえた対話と議論を取り入れて、現代的課題の創造的な解決策を模索する。

#### 4NS002 自然科学包含型 B

##### 【到達目標】

- (1) 自分の常識や専門を共有しない他者と対話し相互理解を深める能力を身につける。
- (2) 学問領域の違いを越えた対話や議論、文理双方の学びを交差的に経験することにより、新しい知見に開かれた態度を身につける。
- (3) 教員とともにオープンな態度で学び続ける知の共同体に参加することによって、卒業後も持続する学びへと導かれ、イノベーティブに社会を再構築する力を習得する。

【概要】 本授業は、研究領域の異なる2名の教員が1クラスを担当し、学問領域の違いを越えた対話や議論を通して新しい知見や創造的な視座を確立し、社会を再構築する力を修得することを目的とする。すべての授業回において教員同士または教員と学生、または学生間の議論を取り入れて、多様性と相互理解の重要性の意味を考えさせる。

今日では、従来の文系／理系を越える多角的視野が不可欠である。本講義では、「国際関係と科学」を共通テーマとして、人文科学や社会科学を越えて、自然科学の専門知をも踏まえた対話と議論を取り入れて、現代的課題の創造的な解決策を模索する。

#### 4NS003 自然科学包含型 C

##### 【到達目標】

- (1) 自分の常識や専門を共有しない他者と対話し相互理解を深める能力を身につける。
- (2) 学問領域の違いを越えた対話や議論、文理双方の学びを交差的に経験することにより、新しい知見に開かれた態度を身につける。
- (3) 教員とともにオープンな態度で学び続ける知の共同体に参加することによって、卒業後も持続する学びへと導かれ、イノベーティブに社会を再構築する力を習得する。

【概要】 本授業は、研究領域の異なる2名の教員が1クラスを担当し、学問領域の違いを越えた対話や議論を通して新しい知見や創造的な視座を確立し、社会を再構築する力を修得することを目的とする。すべての授業回において教員同士または教員と学生、または学生間の議論を取り入れて、多様性と相互理解の重要性の意味を考えさせる。

今日では、従来の文系／理系を越える多角的視野が不可欠である。本講義では、「自然現象」を共通テーマとして、人文科学や社会科学を越えて、自然科学の専門知をも踏まえた対話と議論を取り入れて、現代的課題の創造的な解決策を模索する。

#### 4NS004 自然科学包含型 D

##### 【到達目標】

- (1) 自分の常識や専門を共有しない他者と対話し相互理解を深める能力を身につける。
- (2) 学問領域の違いを越えた対話や議論、文理双方の学びを交差的に経験することにより、新しい知見に開かれた態度を身につける。
- (3) 教員とともにオープンな態度で学び続ける知の共同体に参加することによって、卒業後も持続する学びへと導かれ、イノベーティブに社会を再構築する力を習得する。

**【概要】** 本授業は、研究領域の異なる 2 名の教員が 1 クラスを担当し、学問領域の違いを越えた対話や議論を通して新しい知見や創造的な視座を確立し、社会を再構築する力を修得することを目的とする。すべての授業回において教員同士または教員と学生、または学生間の議論を取り入れて、多様性と相互理解の重要性の意味を考えさせる。

今日では、従来の文系／理系を越える多角的視野が不可欠である。本講義では、「図形」を共通テーマとして、人文科学や社会科学を越えて、自然科学の専門知をも踏まえた対話と議論を取り入れて、現代的課題の創造的な解決策を模索する。

#### 4NS005 自然科学包含型 E

##### 【到達目標】

- (1) 自分の常識や専門を共有しない他者と対話し相互理解を深める能力を身につける。
- (2) 学問領域の違いを越えた対話や議論、文理双方の学びを交差的に経験することにより、新しい知見に開かれた態度を身につける。
- (3) 教員とともにオープンな態度で学び続ける知の共同体に参加することによって、卒業後も持続する学びへと導かれ、イノベーティブに社会を再構築する力を習得する。

**【概要】** 本授業は、研究領域の異なる 2 名の教員が 1 クラスを担当し、学問領域の違いを越えた対話や議論を通して新しい知見や創造的な視座を確立し、社会を再構築する力を修得することを目的とする。すべての授業回において教員同士または教員と学生、または学生間の議論を取り入れて、多様性と相互理解の重要性の意味を考えさせる。

今日では、従来の文系／理系を越える多角的視野が不可欠である。本講義では、「真実とは何か」を共通テーマとして、人文科学や社会科学を越えて、自然科学の専門知をも踏まえた対話と議論を取り入れて、現代的課題の創造的な解決策を模索する。

#### 4NS006 自然科学包含型 F

##### 【到達目標】

- (1) 自分の常識や専門を共有しない他者と対話し相互理解を深める能力を身につける。
- (2) 学問領域の違いを越えた対話や議論、文理双方の学びを交差的に経験することにより、新しい知見に開かれた態度を身につける。
- (3) 教員とともにオープンな態度で学び続ける知の共同体に参加することによって、卒業

後も持続する学びへと導かれ、イノベーティブに社会を再構築する力を習得する。

**【概要】** 本授業は、研究領域の異なる2名の教員が1クラスを担当し、学問領域の違いを越えた対話や議論を通して新しい知見や創造的な視座を確立し、社会を再構築する力を修得することを目的とする。すべての授業回において教員同士または教員と学生、または学生間の議論を取り入れて、多様性と相互理解の重要性の意味を考えさせる。

今日では、従来の文系／理系を越える多角的視野が不可欠である。本講義では、「数理科学」を共通テーマとして、人文科学や社会科学を越えて、自然科学の専門知をも踏まえた対話と議論を取り入れて、現代的課題の創造的な解決策を模索する。

#### 4NS007 自然科学包含型 G

##### 【到達目標】

- (1) 自分の常識や専門を共有しない他者と対話し相互理解を深める能力を身につける。
- (2) 学問領域の違いを越えた対話や議論、文理双方の学びを交差的に経験することにより、新しい知見に開かれた態度を身につける。
- (3) 教員とともにオープンな態度で学び続ける知の共同体に参加することによって、卒業後も持続する学びへと導かれ、イノベーティブに社会を再構築する力を習得する。

**【概要】** 本授業は、研究領域の異なる2名の教員が1クラスを担当し、学問領域の違いを越えた対話や議論を通して新しい知見や創造的な視座を確立し、社会を再構築する力を修得することを目的とする。すべての授業回において教員同士または教員と学生、または学生間の議論を取り入れて、多様性と相互理解の重要性の意味を考えさせる。

今日では、従来の文系／理系を越える多角的視野が不可欠である。本講義では、「環境問題」を共通テーマとして、人文科学や社会科学を越えて、自然科学の専門知をも踏まえた対話と議論を取り入れて、現代的課題の創造的な解決策を模索する。

#### 4NS008 自然科学包含型 H

##### 【到達目標】

- (1) 自分の常識や専門を共有しない他者と対話し相互理解を深める能力を身につける。
- (2) 学問領域の違いを越えた対話や議論、文理双方の学びを交差的に経験することにより、新しい知見に開かれた態度を身につける。
- (3) 教員とともにオープンな態度で学び続ける知の共同体に参加することによって、卒業後も持続する学びへと導かれ、イノベーティブに社会を再構築する力を習得する。

**【概要】** 本授業は、研究領域の異なる2名の教員が1クラスを担当し、学問領域の違いを越えた対話や議論を通して新しい知見や創造的な視座を確立し、社会を再構築する力を修得することを目的とする。すべての授業回において教員同士または教員と学生、または学生間の議論を取り入れて、多様性と相互理解の重要性の意味を考えさせる。

今日では、従来の文系／理系を越える多角的視野が不可欠である。本講義では、「AI」を共

通テーマとして、人文科学や社会科学を越えて、自然科学の専門知をも踏まえた対話と議論を取り入れて、現代的課題の創造的な解決策を模索する。

#### 4NS009 自然科学包含型Ⅰ

##### 【到達目標】

- (1) 自分の常識や専門を共有しない他者と対話し相互理解を深める能力を身につける。
- (2) 学問領域の違いを越えた対話や議論、文理双方の学びを交差的に経験することにより、新しい知見に開かれた態度を身につける。
- (3) 教員とともにオープンな態度で学び続ける知の共同体に参加することによって、卒業後も持続する学びへと導かれ、イノベーティブに社会を再構築する力を習得する。

【概要】 本授業は、研究領域の異なる2名の教員が1クラスを担当し、学問領域の違いを越えた対話や議論を通して新しい知見や創造的な視座を確立し、社会を再構築する力を修得することを目的とする。すべての授業回において教員同士または教員と学生、または学生間の議論を取り入れて、多様性と相互理解の重要性の意味を考えさせる。

今日では、従来の文系／理系を越える多角的視野が不可欠である。本講義では、「数理モデル」を共通テーマとして、人文科学や社会科学を越えて、自然科学の専門知をも踏まえた対話と議論を取り入れて、現代的課題の創造的な解決策を模索する。

## (2) 女性の生きる力科目

##### 《教育目標》

- ・女性学の知識やジェンダー的視点から、社会・文化・歴史の諸相を理解する。
- ・女性の自立的社会参加の基盤となる識見を養うことにより、現代の諸問題に向き合い、解決する能力を身につける。
- ・女性の生涯の健康を支える基礎知識・手法を習得し、心身コンディショニング力や自己管理能力を養う。
- ・身体運動・スポーツについての理解を深め、実践を通して身体運動能力の向上をはかる。

#### 4WP001 挑戦するリベラルアーツ

##### 【到達目標】

- ・専門領域を超えた学習により、幅広い視野と深い識見を養い、東京女子大学のリベラルアーツの特徴を理解する。
- ・高校までの学習活動を踏まえて、それとは異なった、大学での研究活動について理解する。
- ・多様な学問領域の内容を理解することで、それぞれの領域に未解決の課題があり、多種多様な学びの方法や資料が存在することを知る。

- ・多様な学問領域において、結論に至るまでにどのような論証過程があり、それをどのように表現しているかについての理解を深め、その初歩的な方法を身につける。

**【概要】** 東京女子大学は、リベラルアーツ教育を早くから建学の精神として掲げて実践してきた。この授業では、まずリベラルアーツとは何かという基本的な問いから出発し、リベラルアーツという学びを軸に据えたときに、どのような学びの活動が見えてくるかについて、互いに学問領域の異なった教員が、自身の研究テーマに即して自由に研究の内容を紹介し、魅力を語り、これからの展望を示す。これらを統合し、専門性をよりどころとしながらも、専門分野の殻に閉じこもらない、開かれた学びの態度を養うとともに、自分の専門分野を客観的にとらえ直す力を身につける。

#### 4WP101 女性学・ジェンダーを学ぶ

##### 【到達目標】

- ・女性学を構成する基本概念を体系的に習得する。
- ・ジェンダー(社会的・文化的性差)に関する総合的な理解を深め、それに基づいて男女共参画社会のあり方を主体的に考える視点を養う。
- ・女性学の知識とジェンダーの視点を持つことの重要性を理解する。

**【概要】** 近代化を推進してきた男性中心のパラダイムや価値観を、ジェンダーの視点から問い直した「女性学」。その成立の過程や基本概念について学びながら、体系的な理論構造を明らかにする。またそのなかで、女性学が提示した「ジェンダー」(社会的・文化的性差)の概念を軸として、性別を問わず個人としての尊厳が重んじられる男女共同参画社会のあり方について、男性学にも留意しながら考察していく。

#### 4WP102 女性のキャリア形成

##### 【到達目標】

- ・女性労働の現状と問題点を多面的に理解する。
- ・女性労働の課題をジェンダーの視点から捉えることができるようにする。
- ・キャリア理論の学習を通して、自己のキャリア計画・キャリア展望を行うための知識と方法を習得する。

**【概要】** 人生においてどのようなキャリアを築くかは、ライフコースの選択と密接にかかわり、またライフコースの選択はジェンダーと直結している。個人のなかでキャリアとジェンダーは不可分であり、いずれかだけを考えて生きていくことはできない。この授業では、改正男女雇用機会均等法施行後の女性労働の現状、高学歴女性の職業意識やキャリアパターン、企業における女性のキャリア形成、仕事と家庭の両立支援などの問題をとりあげ、女性が生涯にわたって発展的なキャリアをたどるためのシナリオを考える。

#### 4WP103 女性と社会

#### 【到達目標】

- ・グローバル化する現代社会において女性が直面している諸問題について、多面的に理解する。
- ・女性やジェンダーの視点から、社会的な問題を見るというアプローチを身につける。

【概要】 日本社会の内側、また国際社会にあって、女性が直面する問題にどのようなものが存在するであろうか。また、現代にあってその問題にどのように取り組み、解決しようとしているのか。この講義では、このような問いかけをし、女性やジェンダーの視点から、現代社会を多面的に捉え、課題を洗い出したうえで、問題解決に向けての方策を考察する。

### 4WP104 女性のウェルビーイング

#### 【到達目標】

- ・現代における精神疾患の基礎知識を総合的に把握する。
- ・現代社会において女性が抱える問題を精神医学の視点から捉え理解する。

【概要】 現代社会の急激な変化によって、人々は生涯にわたって様々なストレスに晒される。この講義では、女性がストレスにどう対処し、それをどう成長の糧にするかについて、精神保健学の観点から学習する。人の誕生から死に至るまでのライフサイクルにおいて、節目節目で遭遇する精神医学的・心理的・社会的課題についてジェンダーの視点から概観し、それらを乗り越える知恵や経験やスキルを精神保健学から学び、この学習がその人らしいライフサイクルを送るための契機になるような講義を行う。

### 4WP105 女性の起業

#### 【到達目標】

- ・女性による起業をめぐる現状と今後の展望について基礎的な知識を習得する。
- ・起業するまでのプロセスで求められる手続的・技術的な知識を習得する。
- ・商品開発という具体的なタスク達成を通じて、他者を説得するプレゼンテーション力および他者と協働するチームワーク力を高めつつ、課題に挑戦してやり遂げようとする姿勢を身につける。

【概要】 女性が社会で活躍し貢献するための一つのキイ・ルートが起業である。本授業では、日本での起業をめぐる問題点や可能性、女性起業家の具体例や資金計画等に関する基礎的な知識を講述したうえで、ディスカッションやプレゼンテーションなどのグループワーク、個別のカウンセリングを通じて、商品企画を起業につなげるための実践的スキルを習得する訓練をおこなう。これにより、女性が実際に起業するまでの道筋を可視化して、起業へと一歩踏み出せるようにする。

### 4WP106 女性のための金融リテラシー入門

#### 【到達目標】

**【概要】** SMBC グループで働く従業員が講師となり、業務経験を活かした講義を行う。基本的な金融商品・サービスの内容からサステナビリティの実現を通じた社会課題解決への取り組み等、金融業界に関する幅広い分野について学ぶ。そして、社会とつながることで成長を実感し、より豊かな暮らしを営むことに必要な金融知識を習得することに加え、社会の持続的な発展のため、金融を通じてよりよい社会や新たな価値創造に寄与しようとする態度を育てていただく授業計画としている。

#### 4WP201 日本国憲法

**【到達目標】**

- ・ 日本国憲法の基礎概念と憲法学の基本的な考え方を養う。
- ・ 法的思考の基礎を身につける。

**【概要】** この授業では、国の統治機構、基本的人権を中心に、代表的な判例を紹介しながら論点を整理し考察していく。日本国憲法制定の歴史、基本的人権の歴史、プライバシーの権利、法の下での平等、自由権的基本権、社会権的基本権、統治機構としての立法権、行政権、司法権などを取上げて日本国憲法の基本原理を学び、憲法改正問題についても触れる。

#### 4WP301 ケンブリッジ教養講座

**【到達目標】**

本学で身につけた外国語の運用能力を用いた社会・経済・文化に関するテーマの講義・討論・発表等を通じて、個々のテーマに関する知識を拡充し、グローバルな視点で捉える。

**【概要】** この科目は、学生の学習機会の多様化を促進し、国際人としての広い社会的視野と深い見識を身につけることを目的とする。本学の夏期休暇中の約4週間、海外の大学で実施する教養講座に参加し、所定の成績を修めた場合の単位認定の科目として設置する。本学で身につけた外国語の運用能力を用いて、講義・討論・発表等を行なうことで、個々のテーマに関する知識を拡充し、その理解を深めると同時に社会・経済・文化をグローバルな視点で捉える能力の育成をめざす。

#### 4WP401 女性のウェルネス・身体運動

**【到達目標】**

- ・ 女性の健康を支える基礎的な知識を習得する。
- ・ 理論と実践から身体運動に関する理解を深め、健康における運動の重要性を理解し、実践を通して正しい運動法を身につけ、身体能力の向上を図る。
- ・ 心身のコンディションを自己管理する重要性と基礎的手法を理解し、身につける。

**【概要】** 女性の健康のための基礎的な知識や方法論を学ぶ。各種測定を通じて自己の身体を把握し、スポーツ・エクササイズの実習を通して正しい運動法を身につけ、身体能力

を養う。望ましい生活習慣を理解する。身体運動実習におけるグループ活動を通してコミュニケーション能力を高める。心身のコンディションを自己管理する重要性と基礎的手法を学ぶ。生涯を視野に入れ、自分に適した健康法、運動法を主体的に実践していく力を養う。

#### 4WP411 からだの科学

##### 【到達目標】

- ・健康に生きるために必要なからだについての知識や知論を理解する。
- ・効果的な健康法や運動法を習得する。

【概要】 からだや健康に関連することからについて、日々の生活で身近な話題や日常生活で役立つ内容も多く取り上げながら、からだの機能やメカニズムを科学的に捉え、運動に対する適応の仕組みを学び、積極的に健康を育んでいく姿勢を養う。女性のからだに着目し、妊娠・分娩・婦人科疾患についても学び、健康で自分らしく生きていくためにはどうすれば良いかを考える。

#### 4WP412 発育と発達

##### 【到達目標】

- ・身体の発育と運動の発達について、生物学的原理原則に基づいた基礎的な知識を習得する。
- ・発育・発達には、遺伝的要因や環境要因に大きく影響され個別性が存在することを理解する。

【概要】 子どもは自発的に遊び、子どもなりの方法でその動きを身につけながら育っていくことが理想であるが、現代社会においては必ずしもそのとおりにはいかない数々の事情がある。本講義では、子どものからだの発育・発達の原理・原則を学び、さらに、体力・運動能力に影響する要因や正しい測定・評価方法などの知識を身につける。「育った」結果としての自分を考察するとともに、生涯にわたる人間の発育・発達を考える。

#### 4WP413 栄養と健康

##### 【到達目標】

- ・健康に生きるための「食」についての知識・理論・実践法を習得する。
- ・エネルギーのバランスおよびその内容の重要性について理解する。

【概要】 健康に生きるための「食」についての知識、理論、実践法を学ぶ。栄養と運動は健康に直結している。摂取する食のエネルギーと生きているからだを使うエネルギーのバランス及びその内容の重要性について学ぶ。また、現代社会ならではの食の問題について考え、自らの食生活をチェックすることなどを通じて、健康に過ごすための食生活について理解を深める。

#### 4WP414 女性の健康科学

##### 【到達目標】

- ・性の科学的な認識のもとに、性や生命の問題について理解する。
- ・性や生命の問題について学び直し、解決していく力を養う。

【概要】 女性の基礎的教養として、生涯を通して必要な女性の身体とその機能、それに付随する事柄を科学的に理解することを目標とする。身体の解剖・機能・妊娠・分娩・婦人科疾患などについて基礎的な事柄を理解する。また性の問題や不妊治療、出生前診断などの、生理的知識のみならず、倫理的問題、またジェンダーの視点も加味して、性や生命の問題について考えを深める。

#### 4WP415 性と生命（セクソロジー）

##### 【到達目標】

- ・性の科学的な認識のもとに、性や生命の問題について理解する。
- ・性や生命の問題について学び直し、解決していく力を養う。

【概要】 本講義では生理学、性科学、ジェンダー、性の多様性、人間の性愛とは、性と社会など多面的に考察する。時代の大きな変化の中で「性」のあり方もまた大きく変わりつつある。かつて女性の性は自らの意思や希望によって選ぶことなど許されなかった。結婚する、しない、産む、産まない等、自己決定や選択の余地はなかったのである。今、それらは選択の対象となった。それは結果について自ら責任を負うことである。自分自身納得できる生き方を貫くためにはどうしたらよいか。性への偏見や思い込みを捨て一から学び直す。

#### 4WP416 女性の心身コンディショニング

##### 【到達目標】

- ・女性特有の不快症状解消および心身のコンディションを整えるための理論を理解する
- ・心身のコンディションを整えるための方法論を習得する。
- ・生涯を健康的で豊かに過ごす力を養う。

【概要】 現代社会は様々なストレスにより心と身体の不調を訴える人々が増加している。この講義では、女性が健やかに一生を送ることができるよう心身のコンディションを整えるための理論と方法論を学ぶ。はじめに身体の構造を学び、不快症状の原因を探る。さらにその解消方法を様々な健康法から学び、実習することにより心身の自己管理能力を養い、生涯を健康的で豊かに過ごす能力を養う。

## ■実践

#### 4WP417 スポーツ A

##### 【到達目標】

- ・屋外でできるスポーツ（テニス・サッカー・ソフトボール等）の技術を習得する。
- ・身体能力の増進をはかり、スポーツを通してコミュニケーション能力を養う。

【概要】 スポーツは、私たちの生活を豊かにすることができる「地球規模の共通文化」である。ここでは様々なスポーツの中から、屋外で出来るスポーツ（テニス、サッカー、ソフトボール等）を取り上げ、基礎技術を習得し、身体能力の増進をはかり、スポーツを通じてコミュニケーション能力を養う。さらに生涯の健康増進も視野に入れ、スポーツを主体的に日常生活に取り入れていくための素養・能力を養う。

#### 4WP418 スポーツ B

##### 【到達目標】

- ・屋内でできるスポーツ（バドミントン・卓球・バレーボール・バスケットボール等）の技術を習得する。
- ・身体能力の増進をはかり、スポーツを通してコミュニケーション能力を養う。

【概要】 スポーツは、私たちの生活を豊かにすることができる「地球規模の共通文化」である。ここでは様々なスポーツの中から、屋内で出来るスポーツ（バドミントン、卓球、バレーボール・バスケットボール等）を取り上げ、基礎技術を習得し、身体能力の増進をはかり、スポーツを通じてコミュニケーション能力を養う。さらに生涯の健康増進も視野に入れ、スポーツを主体的に日常生活に取り入れていくための素養・能力を養う。

#### 4WP419 スポーツ C

##### 【到達目標】

- ・チャレンジスポーツ（クライミング・ニュースポーツ・ジョギング等）を通し身体能力の増進をはかる。
- ・運動技能の獲得と習熟過程を理解する。

【概要】 様々なスポーツを通して自分に合ったもの及び方法を探り、生き生きとした生活の一部として組み入れることができるよう、実践的に学ぶ。ルールを守り、安全に実施できることも重要な課題である。そのスポーツ特有の面白さを理解し、できないと思っていたことができるようになっていくプロセスを体験することにより、その魅力を第三者にも伝えられるようになることを目指す。

#### 4WP420 スポーツ D

##### 【到達目標】

- ・生涯スポーツ（ゴルフ・障害者スポーツ等）を実践していくための基本技術を習得する。・楽しむための素養を身につけることができる。

**【概要】** スポーツに関わる形は多様化しており、環境やルールや用具などを選択することにより、幼児から高齢者、体力の低い人や障害のある人でも生涯にわたり楽しむことが可能である。健康の維持・増進だけでなく、趣味や生きがい、社交の場ともなる生涯スポーツの意義や価値を知り、様々な活動の形に興味・関心を持って主体的に関わる態度を養う。基本技術を習得し、「できる」ことを増やすことで生涯スポーツの可能性を広げる。

#### 4WP421 フィジカルエクササイズ A

##### 【到達目標】

- ・太極拳の理論を理解する。
- ・基礎的な一連の動きを習得する。
- ・伝統的身体技法を身につける。

**【概要】** 本授業では伝統的中国養生法、身体技法をとりあげ、現代に生かす身体観、健康観の基礎を築き、身体技法を身につけることを目標とする。心を動かし、そして、身体を動かす。太極拳、練功十八法等を通して、動くことを外から見える身体の運動だけでなく、心の内面の充実、ゆっくり、心と対話しながら、身体の内面を磨くために伝統的身体技法を身につける。

#### 4WP422 フィジカルエクササイズ B

##### 【到達目標】

- ・ヨガやピラティスの理論を理解する。
- ・健康に良い姿勢や身体の動かし方を習得する。
- ・生涯の健康を支える自己管理能力を養う。

**【概要】** 代表的な健康法として知られているインド発祥のヨガは、特有のポーズと呼吸法で身体全体の免疫力の向上、ストレス緩和効果など、健康の維持や増進に役立つ効果がある。また、ピラティスはリハビリテーション・プログラムとして開発された経緯を持っているため様々な年代に おいての健康増進や筋力強化に効果がある。ここでは、ヨガやピラティスについての正しい基本的な知識や方法・効果について学び、実習を通してその技法を習得し、生涯の健康を支える自己管理能力を養う。

#### 4WP423 フィジカルエクササイズ C

##### 【到達目標】

- ・レジスタンス・持久性・柔軟性トレーニングについて、基礎的な理論を理解する。
- ・目的に応じたトレーニング・プログラムを作成し、実践できる能力を身につける。

**【概要】** 痩せたい、筋肉をつけたい、スポーツがうまくなりたいなど、目的によって様々なトレーニング方法があり、メディアには多くの情報が氾濫している。しかし、運動（トレーニング）と身体の変化には原理・原則がある。その基礎理論を学ぶことにより、それ

らの情報の持つ正しい内容を理解できるようになる。目的に応じた適切なトレーニング・プログラムを自ら作成する力をつけ、継続的に実践することにより、自分の身体が変わっていくことを知る。

#### 4WP424 身体表現 A

##### 【到達目標】

- ・芸術性を重視したダンス（バレエ等）の歴史の変遷を理解する。
- ・基本技術を習得し、身体を通して表現することができる。
- ・豊かな感性の獲得を目指すことができる。

【概要】 人類の誕生と共に発生したダンスは、歴史・民族・風土・社会と深く関わりながら舞踊文化・身体文化を作り上げてきた。ここでは芸術性を重視したダンス（バレエ等）を取り上げ、その歴的変遷を学び、各ダンスの特徴を学習していく。同時に基本技術を習得し、身体を通して表現する楽しさや洗練された身のこなし、豊かな感性の獲得を目指す。

#### 4WP425 身体表現 B

##### 【到達目標】

- ・現代的なリズムに合わせたダンス（ジャズダンス・ヒップホップ等）の歴史の変遷を理解する。
- ・基本技術を習得し、身体を通して表現することができる。
- ・表現力と感性を高め、身体表現の可能性を高めることができる。

【概要】 身体を通して表現する楽しさや洗練された身のこなし、豊かな感性の獲得を目指す。ここでは現代的なリズムに合わせたダンス（ジャズダンス・ヒップホップ等）の歴史の変遷を学び、基本技術を習得し、身体を通して表現する。音楽にあわせて踊るジャズダンスやヒップホップといったダンスを通して身体に意識を向け、ダンステクニックの基礎を習得しながら、表現力と感性を高め、身体表現の可能性を広げる。

#### 4WP426 身体表現 C

##### 【到達目標】

- ・和の立ち居振る舞いを理解する。
- ・日本の踊りを習得し、身体を通して表現することができる。
- ・伝統に培われた自然な身体技法を身につけることができる。

【概要】 日本人の身体文化に注目する。日本人の立ち居振る舞い、その特徴、日本の舞踊文化の歴史の変遷を学ぶ。踊りを習得し衣装を付け、身体を通して表現する。授業を通して、日本の伝統文化を発信できる知識も養う。伝統に培われた自然な身体技法を身に付けながら日本文化の真髄をからだで味わい、表現する。

## (3)キリスト教学科目

### 《教育目標》

- ・キリスト教精神に基づいた建学の精神を理解する。
- ・聖書、歴史、思想、文化などの観点からキリスト教の理解を深める。

### ■基礎

#### 4XX101 キリスト教学入門Ⅰ

##### 【到達目標】

東京女子大学の建学の精神であるキリスト教とその土台としての聖書の内容を理解する。

【概要】 東京女子大学とキリスト教の関係を学ぶことによって、本学の「建学の精神」を理解する。また、キリスト教の全体像を学び、そのキリスト教の土台である聖書を学ぶ。これらの学びを通して、現代世界に生きる自らの人生について考える。

#### 4XX102 キリスト教学入門Ⅱ

##### 【到達目標】

東京女子大学の建学の精神であるキリスト教とその土台としての聖書、及びキリスト教の縦軸（歴史）と横軸（社会・倫理・文化・芸術など）の展開を理解する。

【概要】 イエス・キリストの生涯と福音及び初代教会の設立と宣教活動について、またキリスト教の歴史的及び社会的展開を学ぶ。これらの学びを通して、現代世界に生きる自らの人生について考える。

### ■発展

#### 4XX201 キリスト教学概論

##### 【到達目標】

- ・ヨーロッパ文化・哲学のふたつの源泉であるギリシアの伝統とユダヤ・キリスト教の伝統が出会うことによって、いかなる事態が起こったのか、その具体的状況を理解する。
- ・その上で、ギリシア哲学、キリスト教双方の理解をより深める。
- ・キリスト教の提起する人間観により、現代世界が直面している深刻な危機を見抜く洞察力を培う。

【概要】 ヨーロッパ思想史の必須の素養としてのキリスト教思想を考察する。神の愛と隣人愛、信仰と希望、原罪と贖罪、三位一体論など、キリスト教思想の基本を解説し、ペテロ、パウロ以来のキリスト教会史の流れを概観する。天使とも動物とも異なる被造物とし

ての人間の位置を明らかにすることは、「人間とは何か」という哲学的考察にも関連するものであり、その理解を目指す。また、キリスト教の提起する人間観は、現代世界が直面している深刻な危機を見抜く洞察力を培うと考え、視野を広げて考察する。

#### 4XX202 聖書の世界

##### 【到達目標】

- ・聖書の歴史と文化、及び地理と風土等の背景を学ぶ。
- ・聖書の文学的特徴にも関心を向けつつ、テキストを精読する。
- ・キリスト教の重要な思想的基盤となっている聖書の主要テーマを理解する。
- ・聖書が語りかける「今を如何に生きるべきか」というメッセージと向き合う。

**【概要】** 歴史と文化（旧約聖書においては古代オリエント、新約聖書においてはジュダイズムとヘレニズム）との関わりや、テキストの文学的特徴にも関心を向けながら、より深い理解が得られるよう聖書を読解する。それらを学問的に学ぶとともに、キリスト教思想についても理解を深め、それぞれの人生観・世界観について問い、生きる意味を考える。

#### 4XX203 キリスト教と倫理

##### 【到達目標】

- ・倫理的思考を養う。
- ・古代から近代に至る倫理思想を学ぶ。
- ・キリスト教の倫理を聖書に学びつつ、現代世界の倫理的問いと向き合う。

**【概要】** グローバル化し多元化する現代社会において、人はいかに生きるべきかという問い(生の哲学)に答えを見出すことは容易ではないし、そもそもその問いが成り立つのかも議論されてきた(メタ倫理学)。そういった近代以降の倫理学の展開(義務論、功利論等)、その前提と枠組みを意識しつつ、キリスト教は今日の倫理的問いに対してどのように語り得るのかを考える。

#### 4XX204 キリスト教の歴史

##### 【到達目標】

- ・キリスト教の成立から始まり、古代、中世、近代を経て今日に至るまでのキリスト教の歴史を理解する。
- ・キリスト教の歴史を理解するために各時代を特徴づける人物や出来事について理解を深める。
- ・キリスト教の歴史的展開が現代を生きる我々とどのような関連を持つのかを考える力を修得する。

**【概要】** キリスト教はローマ・カトリック教会、東方正教会、プロテスタント諸教会の3つの大きな流れに分かれて展開してきた。これらのキリスト教の歴史的展開と特徴を把握

し、各時代を特徴づける人物や出来事を通して、キリスト教が思想（哲学）や文化の歴史に果たしてきた役割を理解する。

#### 4XX205 日本のキリスト教

##### 【到達目標】

- ・日本キリスト教史の知識を身に着ける。
- ・各教派の特徴を理解し、日本キリスト教の特質を把握する。
- ・近現代日本の社会形成に貢献を為した女性キリスト者の生涯・思想を把握する。
- ・キリスト教から影響を受けた作品をとりあげ、その背後にあるキリスト教思想を理解する。

**【概要】** キリスト教宣教の端緒から現代に至る日本キリスト教史を取り上げるとともに、各時代において重要な貢献を為したキリスト者（特に女性）に言及し、その生涯・思想を考察していく。また、日本におけるカトリック、オーソドクシー、プロテスタント及び無教会派の歴史及び特質を理解する。さらにキリスト教から影響を受けた日本の作品を取り上げ、その思想を考察する。

#### 4XX206 キリスト教の思想・文化

##### 【到達目標】

- ・キリスト教（旧約・新約思想、カトリック及びプロテスタント）文化思想に関する基礎的知識を身につける。
- ・キリスト教圏の各国家共同体における文化の特色を、その形成過程を辿ることによって理解する。
- ・各国家共同体の文化形成に対して、どのようなキリスト教思想が影響を与えていったかを理解する。

**【概要】** 本講義は、西方教会圏（カトリック及びプロテスタント）における各国家共同体の文化思想の特色を理解することを目的とする。そのために、旧約及び新約思想、カトリシズム及びプロテスタンティズムの基本的な知識を把握し、各国家共同体の文化形成過程を概観しつつ、その独自の特色に言及していく。そしてそれらの文化形成を生み出したキリスト教思想を取り上げ、各国家の文化形成の特色にどのように影響を与えていったかを考察していく。

#### 4XX207 キリスト教と諸宗教

##### 【到達目標】

- ・キリスト教と諸宗教を比較しながら学ぶことにより、それぞれの宗教の特徴を理解する。
- ・諸宗教のそれぞれの歴史や相互関係を理解する。
- ・現代の宗教事情を読み解く力を修得する。

**【概要】** 世界に存在する諸宗教の中からキリスト教、ユダヤ教、イスラム教等を取り上げ、キリスト教とそれらの宗教の歴史や相互の影響関係を学ぶことにより、それぞれの宗教の特徴を理解し、現代の宗教事情を把握する。

#### 4XX208 キリスト教と芸術

##### 【到達目標】

- ・キリスト教が芸術文化の発展・展開に果たしてきた重要な役割について理解する。
- ・キリスト教芸術文化の歴史の変遷に関する基礎知識を習得する。
- ・キリスト教芸術文化の特徴について理解を深める。

**【概要】** キリスト教信仰やキリスト教会が芸術文化の発展・展開に果たしてきた重要な役割について学び、その歴史の変遷に関する基礎知識を習得するとともに、キリスト教が生み出してきた芸術文化の特徴を理解し、キリスト教と芸術の関わりを考える。

#### 4XX209 キリスト教と音楽

##### 【到達目標】

- ・音楽史全体の流れの中で、ヨーロッパの宗教音楽がどのような変遷を辿ったのかを把握する。
- ・各時代の宗教音楽の特徴的な様式、技法、演奏形態を理解する。
- ・様々な鑑賞方法を通して、音楽を聴く力を養う。

**【概要】** ユダヤ教から大きな影響を受けた初代教会の時代から、現代に至るキリスト教音楽の歩みを解説する。音楽史全般にわたる基本的な流れをふまえながら、中世から現代までの各時代の 特徴的な様式、音楽上の技法、演奏形態等を把握しつつ、主にキリスト教的題材に基づく代表的な 作品を DVD や CD 等の鑑賞を中心に紹介し、教会音楽のもつ魅力を探る。教会音楽を支えてきたパイプオルガンを使用してチャペルで授業を行う場合もある。

#### 4XX210 キリスト教講読

##### 【到達目標】

- ・教父時代から現代までのキリスト教の中心的な教義をめぐる議論の概要を理解する。
- ・具体的な個別テキストを、方法論的にコントロールされた仕方で解釈する作法を身につける。
- ・テキストが指し示しているものを、現代的な視点から問い直す姿勢を養う。

**【概要】** 教父時代から現代までのキリスト教の広大な伝統の中から文献を選び、そのテキストを精読することを通じて、キリスト教思想の精髓を深く理解する。そのためには、テキストの背景となる、著者の時代と生涯についても学ぶ必要があり、また近年の国内外の研究にも目を向けたい。邦訳を参照するが、可能な範囲で原典を大事にしたい。担当者は、事前にレジュメを用意したうえで独自の解釈を提示することが求められる。その後、参加

者全員で討議を行なう。

## (5) Global Citizenship Program 科目

### 《教育目標》

- ・現代的問題や専門分野に関する興味や疑問について、英語力を駆使してグローバルな視点から調査や情報収集を行い、多様な価値観や考え方を身につける。
- ・海外留学を経験することにより異文化理解、対話力、課題解決力を育成し、地球市民として将来の社会経済文化活動の場において、個々の能力を最大限発揮する力を習得する。

### 4GC101 Integrated English A \*

#### 【到達目標】

- ・ Integrated English B とは異なるトピックについて多様な価値観や視点を英語で学び、英語で自己の見解を主張できるための総合的英語運用能力を身につける。
- ・ グローバルな視点から、異領域への関心、共感、理解を深める。
- ・ 海外の大学での学修に取り組むために必要な、英語力の基礎を養う。
- ・ 高頻度語 5,000 語を認識し、使用することができる。

The goals of the course are for students to:

- learn about diverse values and perspectives in English and acquire overall English language skills to express one's views in English.
- deepen one's understanding from a global perspective about topics/issues related to different parts of the world.
- develop interest in different disciplines, and nurture empathy and global awareness through an interdisciplinary approach in the understanding of one's environment and experiences.
- develop the basic academic English skills necessary to engage in studies at universities abroad.
- recognize and use 5,000 high-frequency vocabulary items

【概要】 Integrated English B と異なるグローバルな英語コミュニティにおけるトピックについて、学際分野を学ぶために必要な英語力と、複眼的思考力をもった内容の理解力を育成する、内容言語統合型授業である。英語で自分自身の意見を発信し、聞く、読む、文章を作る、興味を持ってコミュニケーションをとる活動を通して、異なる領域への関心や共感を深める。同時に、豊富な英語のインプットを通して、語彙、文法、発音面の言語能力を向上させ、コミュニケーション活動を通して、文脈の中で言語を理解し使用する能

力や文章を構成する力を習得する。

Integrated English A is a content and language integrated class in which students listen, watch, read and communicate with each other with interest and familiarity with various domains (different from those of Integrated English B), aiming to share their views on global English communities in English. Through rich English language input, students improve their language skills in vocabulary, grammar and pronunciation, and through communicative activities, they develop the ability to understand and use language appropriately and construct coherent writings. Students are assessed on their knowledge of grammar, ability to read academic essays and achievement of the English language skills required to study interdisciplinary fields.

#### 4GC102 Integrated English B \*

##### 【到達目標】

- ・ Integrated English A とは異なるトピックについて多様な価値観や視点を英語で学び、英語で自己の見解を主張できるための総合的英語運用能力を身につける。
- ・ グローバルな視点から、異領域への関心、共感、理解を深め、自分の環境や経験を深く考え、学際的アプローチから課題を探求できるスキルを習得する。
- ・ 海外の大学で学修に取り組むために必要な、学術英語の基礎力を養う。
- ・ 高頻度語 5,000 語を認識し、使用することができる。

The goals of the course are for students to:

- learn about diverse values and perspectives in English and acquire overall English language skills to express one's views in English.
- deepen one's understanding from a global perspective about topics/issues related to different parts of the world.
- develop interest in different disciplines, and nurture empathy and global awareness through an interdisciplinary approach in the understanding of one's environment and experiences.
- develop the basic academic English skills necessary to engage in studies at universities abroad.
- recognize and use 5,000 high-frequency vocabulary items.

【概要】 Integrated English A と異なるグローバルな英語コミュニティにおけるトピックについて、学際分野を学ぶために必要な英語力と、複眼的思考力をもった内容の理解力を育成する、内容言語統合型授業である。英語で自分自身の意見を発信し、聞く、読む、文章を作る、興味を持ってコミュニケーションをとる活動を通して、異なる領域への関心や共感を深める。同時に、豊富な英語のインプットを通して、語彙、文法、発音面の言語

能力を向上させ、コミュニケーション活動を通して、文脈の中で言語を理解し使用する能力や文章を構成する力を習得する。

Integrated English B is a content and language integrated class in which students listen, watch, read and communicate with each other with interest and familiarity with various domains (different from those of Integrated English A), aiming to share their views on global English communities in English. Through rich English language input, students improve their language skills in vocabulary, grammar and pronunciation, and through communicative activities, they develop the ability to understand and use language appropriately and construct coherent writings. Students are assessed on their knowledge of grammar, ability to read academic essays and achievement of the English language skills required to study interdisciplinary fields.

#### 4GC103 Integrated English C \*

##### 【到達目標】

- ・ Integrated English Dとは異なるトピックについて多様な価値観や視点を英語で学び、英語で自己の見解を主張できるための総合的英語運用能力を向上させる。
- ・ グローバルな視点から、異領域への関心、共感、理解を深め、自分の環境や経験を深く考え、学際的アプローチから課題を探求できるスキルを習得する。
- ・ 海外の大学で学修に取り組むために必要な、学術英語の基礎力を養う。
- ・ 高頻度語 5,000 語を認識し、使用することができる。

The goals of the course are for students to:

-learn about diverse values and perspectives in English and improve overall English language skills to express one's views in English.

-deepen one's understanding from a global perspective about topics/issues related to different parts of the world.

-develop interest in different disciplines, and nurture empathy and global awareness through an interdisciplinary approach in the understanding of one's environment and experiences.

-develop the basic academic English skills necessary to engage in studies at universities abroad.

-recognize and use 5,000 high-frequency vocabulary items.

【概要】 Integrated English Dと異なるグローバルな英語コミュニティにおけるトピックについて、学際分野を学ぶために必要な英語力と、複眼的思考力をもった内容の理解力を育成する、内容言語統合型授業である。英語で自分自身の意見を発信し、聞く、読む、文章を作る、興味を持ってコミュニケーションをとる活動を通して、異なる領域への関心

や共感を深める。同時に、豊富な英語のインプットを通して、語彙、文法、発音面の言語能力を向上させ、コミュニケーション活動を通して、文脈の中で言語を理解し使用する能力や文章を構成する力を身につけ、英語でプレゼンテーションしたりエッセイを書いたりするスキルを習得する。

Integrated English C is a content and language integrated class in which students listen, watch, read and communicate with each other with interest and familiarity with various domains (different from those of Integrated English D), aiming to share their views on global English communities in English. Through rich English language input, students will improve their language skills in terms of vocabulary, grammar and pronunciation. Furthermore, through communicative activities, they will develop the ability to understand and use language in context to construct coherent texts. Students are assessed on their understanding of content, application of critical thinking skills and achievement of the English language skills required to study interdisciplinary fields. Students will acquire the skills necessary to making presentations and write essays.

#### 4GC104 Integrated English D \*

##### 【到達目標】

- ・ Integrated English C とは異なるトピックについて多様な価値観や視点を英語で学び、英語で自己の見解を主張できるための総合的英語運用能力を向上させる。
- ・ グローバルな視点から、異領域への関心、共感、理解を深め、自分の環境や経験を深く考え、学際的アプローチから課題を探求できるスキルを習得する。
- ・ 海外の大学で学修に取り組むために必要な、学術英語の基礎力を養う。
- ・ 高頻度語 5,000 語を認識し、使用することができる。

The goals of the course are for students to:

- learn about diverse values and perspectives in English and improve overall English language skills to express one's views in English.
- deepen one's understanding from a global perspective about topics/issues related to different parts of the world.
- develop interest in different disciplines, and nurture empathy and global awareness through an interdisciplinary approach in the understanding of one's environment and experiences.
- develop the basic academic English skills necessary to engage in studies at universities abroad.
- recognize and -use 5,000 high-frequency vocabulary items.

【概要】 Integrated English C と異なるグローバルな英語コミュニティにおけるトピック

クについて、学際分野を学ぶために必要な英語力と、複眼的思考力をもった内容の理解力を育成する、内容言語統合型授業である。英語で自分自身の意見を発信し、聞く、読む、文章を作る、興味を持ってコミュニケーションをとる活動を通して、異なる領域への関心や共感を深める。同時に、豊富な英語のインプットを通して、語彙、文法、発音面の言語能力を向上させ、コミュニケーション活動を通して、文脈の中で言語を理解し使用する能力や文章を構成する力を身につけ、英語でプレゼンテーションしたりエッセイを書いたりするスキルを習得する。

Integrated English D is a content and language integrated class in which students listen, watch, read and communicate with each other with interest and familiarity with various domains (different from those of Integrated English C) aiming to share their views on global English communities in English. Through rich English language input, students will improve their language skills in terms of vocabulary, grammar and pronunciation. Furthermore, through communicative activities, they will develop the ability to understand and use language in context to construct coherent texts. Students are assessed on their understanding of content, application of critical thinking skills and achievement of the English language skills required to study interdisciplinary fields. Students will acquire the skills necessary to making presentations and write essays.

#### 4GC105 Global Studies Seminar A \*

##### 【到達目標】

- ・ 英語圏の大学や機関などが提供する講義を聞き、その内容理解のために自分の英語力を向上させる、自律的学習のための主体性を身につける。
- ・ 大規模公開オンライン講座に参加する海外の参加者や、自分のコミュニティにおけるコミュニケーションを通して、グローバルな視点と異文化について理解する。
- ・ 現実世界の課題について、学際的な視点から探索、議論、発信できるアカデミック英語の技能を習得する。

The goals of the course are for students to:

-develop the autonomous and proactive ability to reflect, research, and explore their English language skills through listening to lectures offered in English-speaking universities and institutions.

-understand global perspectives and different cultures through communication with international participants in Massive Open Online Courses and with the classroom community.

-acquire academic English skills to explore, discuss and communicate about real-

world issues from an interdisciplinary perspective.

-recognize and use 5,000 high-frequency vocabulary items

**【概要】** 英語圏の大学が提供するMOOC (Massive Open Online Course) などを活用した学習者主体の反転授業を行い、海外の大学留学に必要なスキルを身につける。学習者は、オンラインでGlobal Studies Seminar B と異なるテーマについての英語講義を視聴し、読む、書く、考えるなどの双方向タスクに取り組み、テーマ内容の理解を深める。一方、教室ではディスカッションやプレゼンテーションを通して、知識や理解の定着をはかる。文化的背景の異なる海外の大学コミュニティにおける多様な学習者と交わり、オンラインによる異文化体験を通して、英語でコミュニケーションをとり、自分の意見を発信する英語力をつける。

This course provides a student-centered flipped classroom that utilises materials such as MOOCs (Massive Open Online Courses) offered by universities where English is used as a medium of instruction, intending to develop skills needed to engage in studying at universities abroad. Learners will watch lectures online and engage in interactive tasks such as reading, writing, and thinking to deepen their understanding of the content. In the classroom, knowledge and understanding will be established through discussions and presentations. Students will interact with diverse learners from overseas university communities with different cultural backgrounds, communicate in English through cross-cultural experiences online, and develop the English ability to express their own opinions.

#### 4GC106 Global Studies Seminar B \*

##### **【到達目標】**

- ・ 英語圏の大学や機関などが提供する講義を聞き、その内容理解のために自分の英語力を向上させる、自律的学習のための主体性を身につける。
- ・ 大規模公開オンライン講座に参加する海外の参加者や、自分のコミュニティにおけるコミュニケーションを通して、グローバルな視点と異文化について理解する。
- ・ 現実世界の課題について、学際的な視点から探索、議論、発信できるアカデミック英語の技能を向上させる。

The goals of the course are for students to:

-develop the autonomous and proactive ability to reflect, research, and explore their English language skills through listening to lectures offered in English-speaking universities and institutions.

-understand global perspectives and different cultures through communication with international participants in Massive Open Online Courses and with the classroom community.

-improve academic English skills to explore, discuss and communicate about real-world issues from an interdisciplinary perspective.

-recognize and use 5,000 high-frequency vocabulary items

**【概要】** 英語圏の大学が提供するMOOC (Massive Open Online Course) などを活用した学習者主体の反転授業を行い、海外の大学留学に必要なスキルを身につける。学習者は、オンラインでGlobal Studies Seminar A と異なるテーマについての英語講義を視聴し、読む、書く、考えるなどの双方向タスクに取り組み、テーマ内容の理解を深める。一方、教室ではディスカッションやプレゼンテーションを通して、知識や理解の定着をはかる。文化的背景の異なる海外の大学コミュニティにおける多様な学習者と交わり、オンラインによる異文化体験を通して、英語でコミュニケーションをとり、自分の意見を発信する英語力をつける。

This course provides a student-centered flipped classroom that utilises materials such as MOOCs (Massive Open Online Courses) offered by universities where English is used as a medium of instruction, intending to develop skills needed to engage in studying at universities abroad. Learners will watch lectures online and engage in interactive tasks such as reading, writing, and thinking to deepen their understanding of the content. In the classroom, knowledge and understanding will be established through discussions and presentations. Students will interact with diverse learners from overseas university communities with different cultural backgrounds, communicate in English through cross-cultural experiences online, and develop the English ability to express their own opinions.

#### 4GC201 Global Liberal Arts A \*\*

##### **【到達目標】**

- ・ Global Liberal Arts B とは異なる専門的内容についての、英語での講義を理解できる。
- ・ 理解した内容について批判的に考察し、英語で自身の考えを論理的に表現し、議論できるようになる。

The goals of this course are for students to:

- understand lectures in English on specialized topics different from those in Global Liberal Arts B.

- be able to critically reflect on what they have learned from the lectures, express their own ideas logically, and discuss them in English.

**【概要】** 東京女子大学現代教養学部の教員が、その専門に関連する現代的トピックについて英語で行う講義を中心に展開される。「講義前準備課題、講義と質疑応答、講義を振り返ってのグループディスカッション、全体討論」を3セット行う。自身の専門領域あるいは異領域についての専門的な話題について、英語で調べ、聞き、意見交換し、考察する力を

養う。Global Liberal Arts Bとは異なる3つの領域のトピックを扱う。

The course will focus on lectures given in English by faculty members of TWCU on contemporary topics related to their fields of specialization. There will be three sets of the following: "Preparation for the lecture," "Lecture and Q&A," "Group discussion on the lecture," and "Class discussion. The course will cover topics in three different areas from Global Liberal Arts B.

#### 4GC202 Global Liberal Arts B \*\*

##### 【到達目標】

- ・ Global Liberal Arts Aとは異なる専門的内容についての、英語での講義を理解できる。
- ・ 理解した内容について批判的に考察し、英語で自身の考えを論理的に表現し、議論できるようになる。

The goals of this course are for students to:

- understand lectures in English on specialized topics different from those in Global Liberal Arts A.
- be able to critically reflect on what they have learned from the lectures, express their own ideas logically, and discuss them in English.

【概要】 東京女子大学現代教養学部の教員が、その専門に関連する現代的トピックについて英語で行う講義を中心に展開される。「講義前準備課題、講義と質疑応答、講義を振り返ってのグループディスカッション、全体討論」を3セット行う。自身の専門領域あるいは異領域についての専門的な話題について、英語で調べ、聞き、意見交換し、考察する力を養う。Global Liberal Arts Aとは異なる3つの領域のトピックを扱う。

The course will focus on lectures given in English by faculty members of TWCU on contemporary topics related to their fields of specialization. There will be three sets of the following: "Preparation for the lecture," "Lecture and Q&A," "Group discussion on the lecture," and "Class discussion. The course will cover topics in three different areas from Global Liberal Arts A.

#### 4GC203 Study Abroad Preparatory English \*\*

##### 【到達目標】

- ・ 英語圏の大学留学で必要とされるスタディ・スキルを身につけ、英語の学術文献を正確に読み、エッセイやレポートが書ける。
- ・ 学術分野の文献読解、講義の視聴をもとに、英語で議論するスキルを習得する。
- ・ 留学先の生活、学修に必要な知識を身につける。

The goals of the course are for students to :

- acquire the study skills necessary for studying at an English-speaking university,

read academic literature accurately in English, and write essays and reports.

-acquire skills to discuss in English based on reading academic texts and listening to lectures.

-acquire the knowledge necessary for living and studying in the host country.

**【概要】** 英語圏の大学留学に必要なアカデミックスキルの習得と定着を目標に、英語の学術書や文献を読み、議論し討論することで知識を身につける。さまざまな文献を多く読むことで、読むスピードを上げ、グループディスカッションでの効果的なターンテーキングの方法も学ぶ。また、留学先での実際の学習環境に適したフォーマルな表現を学び、英語力を向上させる。

This course aims to help students acquire and consolidate the academic skills necessary for studying at an English-speaking university. Furthermore, they will acquire knowledge through reading, discussing and debating academic references in English. In this study-abroad preparatory course, students will read a wide range of references, increase their reading speed, and learn how to do turn-taking effectively in group discussions. Students will also learn to use formal language and improve their English language skills to adapt to the actual study environment in the host country.

#### 4GC204 Post-SA Research Seminar \*\*

##### **【到達目標】**

- ・ 協定校留学で学修したことや成果について、論理的に説明できる能力を養う。
- ・ 課題解決のための協働学習を通して、コミュニケーション能力、英語で議論をリードするスキルを身につける。

The goals of this course are for students to:

-cultivate the ability to logically explain what you have learned and the results of studying abroad at partner universities.

-acquire communication skills and skills to lead discussions in English through collaborative learning for problem-solving.

**【概要】** 協定校留学の学修をもとに、グローバルなテーマへの理解を深めるため、海外のスピーカーや学生と Collaborative Online International Learning (COIL) などを活用し、共通の研究テーマに取り組む。協働学習に参加し、議論を展開しながら、さまざまな分野についての理解を深める。

In this course, students deepen their understanding of global topics based on their study abroad experience and achievements. Collaborative Online International Learning (COIL) will be applied by connecting and collaborating with speakers and students from abroad online to work on a common research topic. Students will

practice spontaneous and logical explanations needed to collaborate in English online, and develop the skills to lead discussions in English.

#### 4GC205 Global Citizenship Workshop I \*\*

##### 【到達目標】

- ・ 学術分野の用語を英語でわかりやすく説明することができる。
- ・ グローバルな視点と自分の専攻分野の知識をつなぎ、課題発見ができる。
- ・ 自分のテーマを発表し、それにもとづく適切な質疑応答ができる。

The goals of the course are for students to:

- be able to explain terms in academic fields in an easy-to-understand manner in English.
- identify issues by connecting a global perspective with knowledge in your field of specialization.
- be able to present your theme and ask and answer appropriate questions on it.

【概要】 Global Citizenship Programでの学びをもとに、自分の専攻分野での知識を深め、成果発表に向けて準備する。その際、専門分野以外の人々が、研究テーマを理解できる英語で発表することが求められる。授業は、学生中心のワークショップ形式で行われ、発表と質疑応答を繰り返しながら自身の専門を英語で伝えるのに必要な技能を向上させる。

Based on the learning in the Global Citizenship Program, students further develop their knowledge and skills. The content of each research will be presented in English in a manner that can be understood by non-specialists. This will be developed through repeated question-and-answer sessions. Classes are conducted in a student-centered workshop format.

#### 4GC206 Global Citizenship Workshop II \*\*

##### 【到達目標】

- ・ 学術分野の用語を英語でわかりやすく説明することができる。
- ・ グローバルな視点と自分の専攻分野の知識をつなぎ、課題発見ができる。
- ・ 発表内容に基づく質疑応答において、議論を発展させることができる。

The goals of the course are for students to:

- be able to explain terms in academic fields in an easy-to-understand manner in English.
- identify issues by connecting a global perspective with knowledge in your field of specialization.
- develop the discussion in the question-and-answer session based on the content of the presentation.

**【概要】** Global Citizenship Programでの学びをもとに、自分の専攻分野の知識と統合し、質の高い卒業論文の執筆に向けた成果発表に挑む。最終の公開プレゼンテーションでは、専門分野以外の人々が、研究テーマを理解できる英語で発表することが求められる。授業は、学生中心のワークショップ形式で行われ、発表と質疑応答の手法を繰り返し、技能を習得する。

Based on the learning in the Global Citizenship Program, students further develop their knowledge and skills and write a high quality graduation thesis/graduation research. The content of each graduation thesis/research will be presented in English in a manner that can be understood by non-specialists. This will be developed through a number of question-and-answer sessions. Classes are conducted in a student-centered workshop format.

#### 4GC206 SA-based Global English \*\*

##### **【到達目標】**

- ・ 海外留学により多様な分野における時事問題について、学際的、地球市民的視点から学び、卒業後のキャリアに向けてグローバル社会で活躍できる力を育成する。
- ・ 英語運用能力を継続的に向上させる。

The goals of the course are for students to:

-learn about current affairs in various fields from an interdisciplinary and global citizenship perspective, and develop the ability to play an active role in the global society for a career after graduation.

-continuously develop English proficiency.

**【概要】** 英語圏への協定校留学に参加した Global Citizenship Program 生が、所定の成績を修めた場合の単位認定科目である。文化、社会経済、歴史、コミュニティ、情報など各種分野における世界の情勢に関する実態や、時事問題について学び、グローバル社会において活躍できる地球市民となるために必要な力を育成する。

Through this study abroad program, students learn about the current situation and current affairs in the fields such as culture, socio-economics, history, community, and information in the world, and nurture the skills necessary to develop individuals who can play an active role in global society.

## グローバル・シティズンシップ・スタディーズ

### 《教育目標》

- ・ 国際化の時代に地球市民として生きる、その必須の基礎学力である外国語の運用能力を身につけ、さらに専門分野の学びに資する応用力を涵養する。

## (6) 第一外国語科目

### 《教育目標》

- ・国際的に共通語として使われることの多い英語を用いたコミュニケーション能力を伸ばす。
- ・読む、聞く、話す、書くの4技能のいずれに於いても運用能力を伸ばし、英語の受信・発信ができる力を養う。
- ・Interaction、Informative writing など、使用される状況に応じた英語を使い分ける能力を育てる。
- ・専門分野の学習につながる英語力の基礎を培うとともに、社会における活動に役立つ思考力・応用力を身につける。

### ■Integrated Learning

#### 4FF101 Academic Discussion Skills A

##### 【到達目標】

This is an integrated skills course in which students will focus on thought-provoking academic topics. They will learn to:

1. recognise and use 3,000 high-frequency vocabulary items in group discussions.
2. listen to and take notes from short academic lectures.
3. give oral summaries of lectures in order to participate in group discussions related to the academic lecture topics.

英語4技能を統合させた Integrated Skills 型の本授業では、示唆に富む学術的なトピックに焦点を当てる。学生は以下を習得する。

1. グループ・ディスカッションで高頻度語 3,000 語を認識し、使用することができる。
2. 短時間の講義を聴き、ノートを取ることができる。
3. 講義で扱われた内容に関連するグループ・ディスカッションに参加するために、講義の内容を口頭で要約することができる。

【概要】 Based on a philosophy of learning in Liberal Arts Education, we aim to apply an interdisciplinary approach to the teaching of Academic English. Students will learn the foundational skills to process new information and integrate different sources. They will acquire the ability to self-regulate their learning, reflect on their progress and develop plans to meet their goals. Students will take part in small group discussions as active participants or discussion leaders. They will summarise the main ideas from academic lectures, and discuss their understanding of and personal reactions to those topics.

リベラル・アーツ教育の学習理念にもとづき、アカデミック・イングリッシュの指導に学際的な方法を応用する。学生は新たな情報を処理し様々な資料に由来する情報をまとめあげる基礎的なスキルを学ぶ。自律的に学習し、自身の進歩について省察し、目標を達成するための計画を作成する。少人数のグループ・ディスカッションに積極的に参加し、ファシリテーターの役割も経験する。講義の要点をまとめ、講義内容のトピックに関する理解や個人の意見について議論する。

#### 4FF102 Academic Discussion Skills B

##### 【到達目標】

Focusing on thought-provoking topics that are different from Academic Discussion Skills A, students will:

1. continue to develop knowledge and use of 3,000 high-frequency vocabulary items in group discussions.
2. continue to develop lecture listening by identifying lecture organisation, and practicing note-taking strategies.
3. create and deliver short individual and group presentations related to academic topics in the course.

Academic Discussion Skills A とは異なる示唆に富む学術的なトピックに焦点を当て、以下を習得する。

1. グループ・ディスカッションによって高頻度語 3,000 語の知識をさらに深め、使用練習を重ねる。
2. 講義の構成を把握し、ノートの取り方の実践練習を積むことで、英語の講義を聴く力を高める。
3. 授業内で取り上げられた学術的なトピックに関する個人やグループの短いプレゼンテーションを作成し行うことが出来る。

**【概要】** Based on a philosophy of learning in Liberal Arts Education, we aim to apply an interdisciplinary approach to the teaching of Academic English. Students will learn the foundational skills to process new information and integrate different sources. They will acquire the ability to self-regulate their learning, reflect on their progress and develop plans to meet their goals. Students will continue to develop their note-taking skills such as listening for lecture structure language and using abbreviations. Students will have further practice in responding to the ideas and issues presented in the lectures by participating actively in pair, group and whole class discussions.

リベラル・アーツ教育の学習理念にもとづき、アカデミック・イングリッシュの指導に学際的な方法を応用する。学生は新たな情報を処理し様々な資料に由来する情報をまとめあ

げる基礎的なスキルを学ぶ。自律的に学習し、自身の進歩について省察し、目標を達成するための計画を作成する。学生は講義の構成を示す表現に注意を払って聴き、略語の使用によってノートを取るスキルをさらに向上させる。ペア、グループ、クラス全体でのディスカッションに積極的に参加することで、講義で示された発想や問題に対する自分の意見を述べる実践練習をさらに重ねる。

#### 4FF103 Academic Reading Skills A

##### 【到達目標】

Focusing on compelling topics that are different from Academic Reading Skills B, students will:

1. develop knowledge of 3,000 high-frequency vocabulary items through extensive and intensive reading.
2. practice academic reading strategies: setting a reading goal, previewing and predicting content, and identifying main ideas and details, etc.
3. develop their reading speed through a speed-reading program.

Academic Reading Skills Bとは異なる、説得力のあるトピックに焦点を当て、以下を習得する。

1. 多読と精読を通じて、高頻度語 3,000 語の知識を深める。
2. 読書目標の設定、内容の予測、要点と詳細の識別といった学術的な読解方法の実践練習を積む。
3. 速読プログラムを通じて読解速度を向上させる。

【概要】 Based on a philosophy of learning in Liberal Arts Education, we aim to apply an interdisciplinary approach to the teaching of Academic English. Students will learn the foundational skills to process new information and integrate different sources. They will acquire the ability to self-regulate their learning, reflect on their progress and develop plans to meet their goals. In this course, students will develop their academic reading skills by: doing timed readings to increase reading speed; reading extensively to build reading fluency and vocabulary knowledge; and reading intensively to learn about academic, thought-provoking topics.

リベラル・アーツ教育の学習理念にもとづき、アカデミック・イングリッシュの指導に学際的な方法を応用する。学生は新たな情報を処理し様々な資料に由来する情報をまとめあげる基礎的なスキルを学ぶ。自律的に学習し、自身の進歩について省察し、目標を達成するための計画を作成する。この科目では、学生は以下の方法によって学術的な読解力を向上させる。

- ・制限時間を設定した読解練習によって、読む速さを向上させる。

- ・多読を通じて、読解力を養い、語彙の知識を構築する。
- ・精読を通じて、学術的で啓発的なトピックについて学ぶ。

#### 4FF104 Academic Reading Skills B

##### 【到達目標】

Focusing on topics that are different from Academic Reading Skills A, students will:

1. continue to develop knowledge of 3,000 high-frequency vocabulary items through extensive and intensive reading.
2. practice additional academic reading strategies: identifying paragraph and text structure, skimming and scanning, reacting to the text, etc.
3. continue to develop their reading speed through a speed-reading program.

Academic Reading Skills A とは異なるトピックに焦点を当て、以下を習得する。

1. 多読と精読を通じて、高頻度語 3,000 語の知識をさらに深める。
2. 段落と文章全体の構造の識別、スキミングとスキヤニング、文章に対する自分の意見の検討等、更なる読解方略の実践練習を積む。
3. 速読プログラムを通じて読解速度の向上を継続する。

**【概要】** Based on a philosophy of learning in Liberal Arts Education, we aim to apply an interdisciplinary approach to the teaching of Academic English. Students will learn the foundational skills to process new information and integrate different sources. They will acquire the ability to self-regulate their learning, reflect on their progress and develop plans to meet their goals. Students will continue to develop different facets of their reading abilities. They will continue to practice academic reading strategies so they are prepared to tackle more challenging texts on their own. They will identify text organisation, main ideas, and respond critically to the content.

リベラル・アーツ教育の学習理念にもとづき、アカデミック・イングリッシュの指導に学際的な方法を応用する。学生は新たな情報を処理し様々な資料に由来する情報をまとめあげる基礎的なスキルを学ぶ。自律的に学習し、自身の進歩について省察し、目標を達成するための計画を作成する。学生は様々な側面における読解力の向上を継続する。さらに、より難易度の高い文章の読解に自力で取り組むことができるよう、さまざまな読解方略の実践練習を重ねる。加えて、文章の構成や要点を理解した上で、内容に対して批判的に反応する。

#### 4FF105 Academic Writing Skills I

##### 【到達目標】

Focusing on developing coherent paragraphs, students will:

1. recognise and use the 3,000 high-frequency vocabulary items through timed-writing activities.
2. use the processes for brainstorming the topic, writing an outline and developing a well-structured paragraph.
3. demonstrate awareness of, and use of critical thinking in formulating facts and ideas in paragraph writing.

首尾一貫性をもつパラグラフ展開に焦点を当て、以下を習得する。

1. 制限時間内に英語の文章を書くアクティビティを通じて高頻度語 3000 語を認識し活用する。
- 2.ブレインストーミング、アウトラインの作成、しっかりとした構造を持つパラグラフ展開の手順を活用する。
3. パラグラフ・ライティングで事実や考えを系統立てて延べ、批判的思考について理解し実践していることを示す。

**【概要】** Based on a philosophy of learning in Liberal Arts Education, we aim to apply an interdisciplinary approach to the teaching of Academic English. Students will learn the foundational skills to process new information and integrate different sources. They will acquire the ability to self-regulate their learning, reflect on their progress and develop plans to meet their goals. The emphasis in this course is on developing academic vocabulary in use through authentic texts, guiding the student to produce well structured paragraphs. Critical thinking skills are at the core of all tasks, enabling students to express their thoughts logically, with reasons to support them.

リベラル・アーツ教育の学習理念にもとづき、アカデミック・イングリッシュの指導に学際的な方法を応用する。学生は新たな情報を処理し様々な資料に由来する情報をまとめあげる基礎的なスキルを学ぶ。自律的に学習し、自身の進歩について省察し、目標を達成するための計画を作成する。

この科目では、学術的な文章の原文を扱う課題を通じて、学術的な語彙を習得することに重点を置き、学生がしっかりとした構造を持つパラグラフを作成できるよう指導する。学生が裏付けとなる根拠を挙げて自らの考えを論理的に表現することを可能にする、批判的思考力の養成を全ての課題の中心に置く。

#### 4FF106 Academic Writing Skills II

##### **【到達目標】**

Focusing on developing logical essays, students will:

1. continue to develop knowledge of 3,000 high-frequency vocabulary items through timed writing activities.

2. use the processes to brainstorm, organise ideas, write and revise essays.
3. continue to develop critical thinking skills to support writing with reasons and evidence in essays.

論理的なエッセイの展開に焦点を当て、以下を習得する：

1. 制限時間内に英語の文章を書くアクティビティを通じて高頻度語 3000 語の知識をさらに深める。
2. ブレインストーミング、論点の整理、エッセイの執筆と推敲の手順を活用する。
3. 批判的思考力をさらに発展させ、理由と根拠を挙げてエッセイの内容を裏付ける。

**【概要】** Based on a philosophy of learning in Liberal Arts Education, we aim to apply an interdisciplinary approach to the teaching of Academic English. Students will learn the foundational skills to process new information and integrate different sources. They will acquire the ability to self-regulate their learning, reflect on their progress and develop plans to meet their goals. This course will develop students' abilities to convey their ideas in a logical manner with reasons and evidence. They will build on what they learned about sentence and paragraph structure to write longer pieces of academic writing. Students will continue to develop their writing fluency and vocabulary knowledge by doing timed-writings.

リベラル・アーツ教育の学習理念にもとづき、アカデミック・イングリッシュの指導に学際的な方法を応用する。学生は新たな情報を処理し様々な資料に由来する情報をまとめあげる基礎的なスキルを学ぶ。自律的に学習し、自身の進歩について省察し、目標を達成するための計画を作成する。

この科目では、学生が理由と根拠を挙げて自らの考えを論理的に述べる力を養成する。文と段落の構造について学習した内容に立脚して、より長い学術的な文章を書く力を身につける。制限時間内に文章を書くアクティビティを通して、流暢に書く力と語彙力を高める。

## ■ Exploring Content

### 4FF107 Exploring Content: Listening/Speaking A

#### 【到達目標】

Focusing on listening to and speaking about content from different academic disciplines students will:

1. learn and develop knowledge of the Academic Word List.
2. develop knowledge of and apply critical thinking skills to academic topics related to humanities, social sciences and natural sciences.
3. continue to develop note-taking, discussion and presentation skills from year 1.

学術的な内容を聴き、話すことに焦点を当て、以下を習得する。

1. Academic Word List を学習し知識を深める。
2. 批判的思考に基づき、人文科学、社会科学、自然科学に関連する学術的なトピックの知識を深める。
3. 1年次で学習したノートの取り方、ディスカッション、プレゼンテーションのスキルをさらに向上させる。

**【概要】** Building on the academic skills learnt in Year 1, students will apply their critical thinking skills to evaluate the reliability of sources in different academic tasks. Students will learn how to respond to content in an original way and become confident in expressing their own ideas. They will also develop their ability to learn collaboratively. This course will enable students to practice and hone the academic skills they learned in year 1 and apply them to academic lectures and discussions. The emphasis will be on learning new content related to academic topics. Students will summarise, discuss and make individual or group presentations related to these topics.

1年次で習得したアカデミック・スキルに立脚し、様々な課題に取り組む際に批判的思考を応用して情報源の信頼性を評価する。学生は資料の内容に対して独創的に反応し、自信を持って自らの考えを表現することを学ぶ。共同学習をする力も向上させる。

この科目では、学生は1年次で学習したアカデミック・スキルを講義の受講やディスカッションに応用する実践練習を積む。学術的なトピックに関連する新たな内容を学ぶことに重点を置き、学生はこれらのトピックに関する要約と議論に加え、個人やグループでの発表を行う。

#### 4FF108 Exploring Content: Listening/Speaking B\*

##### **【到達目標】**

Focusing on listening to and speaking about academic content that is different from Exploring Content: Listening/Speaking A, students will:

1. learn and develop knowledge of the Academic Word List.
2. develop knowledge of and apply critical thinking skills to academic topics related to humanities, social sciences, and natural sciences.
3. continue to develop note-taking, discussion and presentation skills from year 1.

Exploring Content: Listening/Speaking Aとは異なる学術的な内容を聴き、話すことに焦点を当て、以下を習得する。

1. Academic Word List を学習し知識を深める。
2. 批判的思考に基づき、人文科学、社会科学、自然科学に関連する学術的なトピックの知

識を深める。

3. 1年次で学習したノートの取り方や、ディスカッション、プレゼンテーションのスキルをさらに向上させる。

**【概要】** Building on the academic skills learnt in Year 1, students will apply their critical thinking skills to evaluate the reliability of sources in different academic tasks. Students will learn how to respond to content in an original way and become confident in expressing their own ideas. They will also develop their ability to learn collaboratively. This course will enable students to practice and hone the academic skills they learned in year 1 and apply them to academic lectures and discussions. The emphasis will be on learning new content related to academic topics that are different from Exploring Content: Listening/Speaking A. Students will summarize, discuss, and make individual, or group presentations related to these topics.

1年次で習得したアカデミック・スキルに立脚し、様々な課題に取り組む際に批判的思考を応用して情報源の信頼性を評価する。学生は資料の内容に対して独創的に反応し、自信を持って自らの考えを表現することを学ぶ。共同学習をする力も向上させる。

この科目では、1年次で習得したアカデミック・スキルを講義の受講やディスカッションに応用する実践練習を積む。Exploring Content: Listening/Speaking Aで扱った内容とは異なる学術的なトピックについての新たな内容の学習に重点を置く。学生は、これらのトピックに関する要約と議論に加え、個人やグループでの発表を行う。

#### 4FF109 Exploring Content: Reading/Writing A

##### **【到達目標】**

By exploring academic topics from different disciplines, students will develop their reading and writing skills. Students will:

1. learn and develop knowledge of the Academic Word List.
2. develop knowledge of and apply critical thinking skills to academic topics related to humanities, social sciences and natural sciences.
3. continue to develop academic reading skills from year 1, and summarise texts, using quotes and paraphrases to support their writing.

さまざまな分野の学術的なトピックの探求を通して読み書きのスキルを身につけ、以下を習得する。

1. Academic Word List を学習し知識を深める。
2. 批判的思考に基づき、人文科学、社会科学、自然科学に関連する学術的なトピックの知識を深める。
3. 1年次で身につけたアカデミックな読解スキルを発展させ、引用や言い換えを用いて文

章を要約する。

**【概要】** Building on the academic skills learnt in Year 1, students will apply their critical thinking skills to evaluate the reliability of sources in different academic tasks. Students will learn how to respond to content in an original way and become confident in expressing their own ideas. They will also develop their ability to learn collaboratively. This course will enable students to practice and hone the academic skills they learned in year 1 and apply them to academic reading and discussions. The emphasis will be on learning new content related to academic topics through reading. Students will summarise, discuss and respond to content through written tasks including summaries and critical evaluations.

1年次で習得したアカデミック・スキルに立脚し、様々な課題に取り組む際に批判的思考を応用して情報源の信頼性を評価する。学生は資料の内容に対して独創的に反応し、自信を持って自らの考えを表現することを学ぶ。共同学習をする力も向上させる。

この科目では、学生は1年次で習得したアカデミック・スキルを学術的な文章の読解やディスカッションに応用する実践練習を積む。リーディングを通じて、学術的なトピックについての新たな内容を学習することに重点が置かれる。ライティングの課題には、文章の内容の要約と批判的な評価を書くことが含まれる。これらの課題を通して、学生は読解した内容を要約し、議論し、内容に対する自身の考えを述べる。

#### 4FF110 Exploring Content: Reading/Writing B\*

##### **【到達目標】**

Focusing on reading and writing about academic content that is different from Exploring Content: Reading/Writing A students will:

1. learn and develop knowledge of the Academic Word List.
2. develop knowledge of and apply critical thinking skills to academic topics related to humanities, social sciences and natural sciences.
3. continue to develop academic reading skills from year 1, and summarise texts, using quotes and paraphrases to support their writing.

Exploring Content: Reading/Writing Aとは異なる学術的なトピックに関する読み書きに焦点を当て、以下を習得する。

1. Academic Word List を学習し知識を深める。
2. 批判的思考に基づき、人文科学、社会科学、自然科学に関連する学術的なトピックの知識を深める。
3. 1年次で身につけたアカデミックな読解スキルを発展させ、引用や言い換えを用いて文章を要約する。

**【概要】** Building on the academic skills learnt in Year 1, students will apply

their critical thinking skills to evaluate the reliability of sources in different academic tasks. Students will learn how to respond to content in an original way and become confident in expressing their own ideas. They will also develop their ability to learn collaboratively. This course will enable students to practice and hone the academic skills they learned in year 1 and apply them to academic reading and discussions. The emphasis will be on learning new content related to academic topics that are different from Exploring Content: Reading/Writing A through reading. Students will summarize, discuss, and respond to content through written tasks including summaries and critical evaluations.

1年次で習得したアカデミック・スキルに立脚し、様々な課題に取り組む際に批判的思考を応用して情報源の信頼性を評価する。学生は資料の内容に対して独創的に反応し、自信を持って自らの考えを表現することを学ぶ。共同学習をする力も向上させる。

この科目では、学生は1年次で習得したアカデミック・スキルを学術的な文章の読解やディスカッションに応用する実践練習を積む。リーディングを通じて、Exploring Content: Reading/Writing A で扱った内容とは異なる学術的なトピックについての新たな内容を学ぶことに重点が置かれる。ライティングの課題には、文章の要約と批判的な評価を書くことが含まれる。これらの課題を通して、学生は読解した内容を要約し、議論し、内容に対する自身の考えを述べる。

## ■ Critical Thinking and Creativity

### 4FF121 Presenting Research

#### 【到達目標】

In this course students will be encouraged to become more autonomous by:

1. creating compelling presentations based on their mini-research projects or literature review. Students will learn to summarize key points, create impactful slides, engage their audience, project their voice, maintain eye contact and good posture, and handle Q&A.
2. acquiring and using appropriate academic vocabulary for presentation delivery.
3. engaging in small-group, pair, or individual presentations to build confidence and enhance their presentation skills.

学生は自律的な学習者になることを目標として、以下を習得する。

1. 小規模なリサーチ・プロジェクトや文献レビューに基づいて、説得力のあるプレゼンテーションを作成する。学生は、重要な点の要約、インパクトのあるスライドの作成、聴衆を引き付けること、声の張り方、アイコンタクトと正しい姿勢の維持、質疑への応答方法を学ぶ。

2. プレゼンテーションを行ううえで適切なアカデミックな語彙を習得し、使用する。
3. 小人数のグループ、ペア、または個人でプレゼンテーションを行い、自信を高め、プレゼンテーション・スキルを向上させる。

**【概要】** Building on the academic skills in the first year programme, students will further develop their research skills and cultivate their awareness in thinking critically about their research. By working in collaboration with other students, learners will become equipped with the tools they need to discover solutions with a view to making a contribution to the knowledge of the world. This course is designed to help students develop their presentation skills. The course will equip students with essential skills to deliver compelling academic presentations derived from their literature reviews or research findings. It will allow them to improve their presentation skills, including planning, drafting, and revising their speeches and using presentation-specific academic vocabulary. Students will also have ample opportunities to build confidence through a variety of presentation formats, including small-group, pair, and individual presentations. They will be able to refine their presentations through peer and instructor feedback and become more effective communicators.

1年次で習得したアカデミック・スキルに立脚し、リサーチ・スキルをさらに発展させ、自らのリサーチについて批判的に思考する意識を養成する。学習者は、他の学生との共同作業によって、世界の知に貢献するための解決方法を見出すうえで必要なツールを身に着ける。この科目は、プレゼンテーション・スキルの向上を目的とし、文献のレビューや研究結果に基づいた説得力のあるプレゼンテーションを行うために必須のスキルを習得する。スピーチの立案、草稿の作成、推敲、プレゼンテーションで特に用いられるアカデミックな語彙の使用を含む、プレゼンテーションのスキルを向上させる。加えて、少人数のグループ、ペア、個人によるプレゼンテーションなど、学生が様々なプレゼンテーション形式を通じて自信をつける機会も十分に提供する。他の学生や教員からのフィードバックを通じてプレゼンテーションを洗練させ、より効果的なコミュニケーション能力を身につける。

#### 4FF122 Writing Research Papers

##### **【到達目標】**

In this course students will be encouraged to become more autonomous by:

1. formatting a research paper, paying close attention to how to cite correctly and list references using APA or MLA writing style.
2. developing skills in writing a thesis statement, employing concrete rhetoric, expressing their thoughts in complete sentences, forming correct paragraphs, and producing research writing with higher word counts than their typical essays.

3. differentiating between reliable and unreliable sources of information and analyzing and synthesizing data to present a clear and coherent analysis of the findings.

自律的な学習者になることを目標として、以下を習得する。

1. APA または MLA スタイルを用いて正しく引用し、参考文献一覧を作成する方法に細心の注意を払いながら研究論文の形式を整える。
2. 主題文を書き、具体的なレトリックを使用し、自分の考えを完成した文章で表現し、正しい段落を構成し、自らが通常執筆するエッセイよりも多くの語数の論文を作成するスキルを発展させる。
3. 信頼できる情報源と信頼できない情報源を区別し、データを分析および統合して、明確で一貫した結果の分析を提示する。

**【概要】** Building on the academic skills in the first year programme, students will further develop their research skills and cultivate their awareness in thinking critically about their research. By working in collaboration with other students, learners will become equipped with the tools they need to discover solutions with a view to making a contribution to the knowledge of the world. This course is designed for students who are interested in improving their academic writing skills. The course focuses on developing critical thinking and creativity skills to help students produce high-quality research papers with examples from the disciplines of Humanities, Social Sciences, Education, Psychology and Science, among others. Through a series of lectures, assignments, and workshops, students will learn how to evaluate sources, analyze data, and develop arguments in a clear and concise manner. The course will also equip students with essential academic skills, such as independent learning, effective time management, and research methods.

1年次で習得したアカデミック・スキルに立脚し、リサーチ・スキルをさらに発展させ、自らのリサーチについて批判的に思考する意識を養成する。学習者は、他の学生との共同作業によって、世界の知に貢献するための解決方法を見出すうえで必要なツールを身に着ける。この科目はアカデミック・ライティングのスキル向上に関心のある学生を対象とする。人文科学、社会科学、教育学、心理学、科学等の様々な分野の例を扱い、質の高い論文を作成する一助となる批判的思考力と創造性を向上させることに焦点を当てる。学生は講義、課題、ワークショップを通じて、資料の評価、データ分析、明晰で簡潔な議論展開の方法を学ぶ。加えて、自律的な学習、効果的な時間管理、研究方法等、必須のアカデミック・スキルも身に着ける。

## 【到達目標】

In this course students will be encouraged to become more autonomous by:

1. learning media-related vocabulary and concepts specific to various media forms, such as print media, television, and social media.
2. developing their critical thinking skills through learning and practicing how to distinguish reliable from unreliable sources, understanding the importance of media representation (e.g., in terms of gender, race, and age), reflecting on the impact media have on their lives, analyzing the language used to describe people and events, and deconstructing media messages about different groups of people and interpretations of events
3. producing news stories based on information gathered from interviews or attending events. They will also create opinion pieces and review movies, plays, or concerts.

自律的な学習者になることを目標として、以下を習得する。

1. 出版メディア、テレビ、ソーシャル・メディアなど、様々なメディア形式に特有のメディア関連の語彙と概念を学ぶ。
2. 信頼できる情報源と信頼できない情報源を区別する方法を学習する。メディアにおける表象の重要性（性別、人種、年齢などの観点）を理解し、学生本人の人生にメディアが及ぼす影響を深く考察し、人々や出来事を説明するために使用される言語を分析し、様々な人々の集団や出来事の解釈に関するメディア・メッセージを分析することを通じて、批判的思考スキルを発展させる。
3. インタビューやイベントへの参加から収集した情報に基づいてニュース記事を作成する。また、意見記事を作成し、映画、演劇、コンサートに関する批評を書く。

【概要】 Building on the academic skills in the first year programme, students will further develop their research skills and cultivate their awareness in thinking critically about their research. By working in collaboration with other students, learners will become equipped with the tools they need to discover solutions with a view to making a contribution to the knowledge of the world.

This course will enhance students' understanding of media-related vocabulary and concepts and foster their media literacy skills. It will prepare students to deconstruct media messages by identifying message creators, intended audiences, and message goals. This process will enable students to become independent, critical consumers of media. In addition, students will produce reports resembling newspaper articles, which will give them the opportunity to apply their newfound skills in a real-world setting.

1年次で習得したアカデミック・スキルに立脚し、リサーチ・スキルをさらに発展させ、自

らのリサーチについて批判的に思考する意識を養成する。学習者は、他の学生との共同作業によって、世界の知に貢献するための解決方法を見出すうえで必要なツールを身に着ける。この科目は、メディアに関連する語彙や概念についての学生の理解を深め、メディア・リテラシーを育成する。メッセージの作成者、メッセージが対象とする読者、メッセージの目標を特定することで、学生がメディア・メッセージを分解して分析する準備を整える。このプロセスを通して、学生が独立した批判的思考を行うメディア消費者となることを目指す。加えて、学生は新聞記事のようなレポートを作成する。これにより、学生は新しいスキルを実践する機会を得る。

#### 4FF124 English through Literature

##### 【到達目標】

In this content-based course students will develop their critical thinking skills and creativity by:

1. learning about how literature, including drama, has been performed through video analysis.
2. enhancing knowledge of different genres of literature through the performance of works of literature in groups.
3. developing an understanding of key literary concepts and putting these to use in analysis of literary texts.

内容重視型の本授業では、批判的思考力および創造力を養うために、以下を習得する。

1. 演劇を含む文学がどのように上演されてきたか、映像分析を通じて学ぶ。
2. グループで文学作品の上演を通じて、さまざまなジャンルの文学についての知識を高める。
3. 重要な文学的概念の理解を深め、文学作品の分析にそれらを活用する。

【概要】 This course is designed for students to study content through an interdisciplinary approach. This will provide students the opportunity to explore across the disciplines to form an intellectual grounding. Students will learn the language used in different subjects in order to articulate their own thinking in a critical manner.

この科目は、学生が学際的なアプローチを通して学ぶことを目的とする。これにより、学生は知的基盤を形成するために、分野を超えて探求する機会を得ることができる。学生は、自分の考えを批判的に表現するために、異なる分野・科目で使用される言語を学ぶ。

#### 4FF125 Topics in Language Study

##### 【到達目標】

In this content-based course students will develop their critical thinking skills

and creativity by:

1. investigating a variety of topics in the field of language study and developing critical thinking skills about English language study in the 21st century.
2. exploring topics from linguistics (ex. syntax, semantics, history and globalization of English) and applied linguistics (ex. corpus linguistics, Computer Assisted Language Learning (CALL), language teaching, and discourse analysis)
3. analyzing and comparing traditional and recent trends in language study such as communicative method, social media, virtual reality, Teaching Proficiency through Reading and Storytelling (TPRS), and task-based learning, among others.

内容重視型の本授業では、批判的思考力および創造力を養うために、以下を習得する。

1. 語学学習分野のさまざまなトピックを調査し、21世紀の英語学習について批判的思考力を養う。
2. 言語学（例：統語論、意味論、英語史、英語のグローバル化）および応用言語学（例：コーパス言語学、コンピュータ支援言語学習（CALL）、言語教育、談話分析）のトピックを探索する。
3. コミュニカティブメソッド、ソーシャルメディア、仮想現実、読書とストーリーテリングによる指導（TPRS）、タスクベースの学習など、言語学習における伝統的手法および最近の傾向を、比較分析する。

**【概要】** This course is designed for students to study content through an interdisciplinary approach. This will provide students the opportunity to explore across the disciplines to form an intellectual grounding. Students will learn the language used in different subjects in order to articulate their own thinking in a critical manner.

This course introduces topics of language study from fields such as technology, education, journalism, literature, medicine, sociology, philosophy, behavioral science, marketing, nutritional science, psychology, art history, new technologies, and more. Students will examine a diverse range of topics, taking a global education approach to language study which will improve their English in all four skills while also empowering them to become world citizens.

この科目は、学生が学際的なアプローチを通して学ぶことを目的とする。これにより、学生は知的基盤を形成するために、分野を超えて探求する機会を得ることができる。学生は、自分の考えを批判的に表現するために、異なる分野・科目で使用される言語を学ぶ。

この科目はテクノロジー、教育、ジャーナリズム、文学、医学、社会学、哲学、行動科学、マーケティング、栄養学、心理学、美術史、新たなテクノロジー等の多岐にわたる分野から選択された、語学学習のトピックを紹介する。グローバル教育のアプローチ法を語学学習に取り入れ、多様なトピックを検証することにより、学生が英語の4技能すべてを向上させ

るとともに、世界市民になることを可能にする。

#### 4FF126 Topics in Arts and Sciences

##### 【到達目標】

In this content-based course students will develop their critical thinking skills and creativity by:

1. exploring a variety of topics from different disciplines, learn new, discipline-relevant concepts, and develop their critical thinking skills about various issues
2. analyzing information from various sources, discuss this information from different aspects, and reflect on how these topics relate to their lives
3. cultivating their global awareness and cultural competence by studying diverse topics and understanding their global implications

内容重視型の本授業では、批判的思考力および創造力を養うために、以下を習得する。

1. 様々な分野の違ったトピックを探索し、その分野に関連した新しい概念を学び、問題について考える批判的思考スキルを発展させる。
2. 多くの情報源からの情報を分析し、情報を多角的に議論し、これらのトピックが自分たちの生活にどのように関係しているかを熟考する。
3. 多様なトピックを学び、その世界的な影響を理解することで、グローバルな認識と文化的能力を養う。

**【概要】** This course is designed for students to study content through an interdisciplinary approach. This will provide students the opportunity to explore across the disciplines to form an intellectual grounding. Students will learn the language used in different subjects in order to articulate their own thinking in a critical manner.

Topics that this course covers can range from topics from the fields of sociology, philosophy, political science, psychology, history, art history, anthropology, human rights, bioethics, migration studies, and AI. Students will improve their language skills through engaging discussions, readings, and activities while gaining discipline-specific knowledge. The course encourages critical thinking and global awareness, improves students' English language proficiency, and broadens their intellectual horizons.

この科目は、学生が学際的なアプローチを通して学ぶことを目的とする。これにより、学生は知的基盤を形成するために、分野を超えて探求する機会を得ることができる。学生は、自分の考えを批判的に表現するために、異なる分野・科目で使用される言語を学ぶ。

この科目は社会学、哲学、政治学、心理学、歴史、美術史、人類学、人権、生命倫理、移住研究、AI など幅広いトピックを取り扱う。学生は各分野特有の知識を得ながら、興味深い

ディスカッション、リーディング、その他のアクティビティを通じて言語スキルを向上させていく。批判的思考とグローバルな認識を奨励し、学生の英語運用能力を向上させ、知的視野を広げることを目的とする。

## ■ Academic Preparation

### 4FF131 IELTS

#### 【到達目標】

In this course students will develop their study skills to become more autonomous by:

1. identifying key test-taking strategies for success in the IELTS exam.
2. reviewing test-format, task-types, and sample questions.
3. improving and developing confidence in all four skill areas of academic listening, reading, writing, and speaking.

自律的な学習者になることを目標として、以下を習得する。

1. IELTS 試験で成功する上で鍵となる方法を確認する。
2. テスト形式、タスクの種類、および問題例を概観する。
3. 学術的なリスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの 4 技能の全てを向上し、自信をつける。

【概要】 Developing their academic skills, students will practice all four components of the IELTS exam. By cultivating these academic tools, learners will apply these skills to other courses and become more independent in making decisions in their approach to learning. The course will prepare students to study abroad as well as in Japan, as IELTS is an internationally recognised exam.

This course will introduce the core strategies for achieving test-success. Students will learn more about how each section is scored and thoroughly understand the band descriptors which describe written and spoken performance. They will prepare for the test using a critical-thinking approach to a wide range of topics.

アカデミックなスキルを身につけるため、IELTS 試験の 4 つのコンポーネントすべてをカバーする。学生は、これらのスキルを他の科目にも応用し、学習へのアプローチにおいてより自律した意思決定を行うことができるようになる。IELTS は国際的に認められている試験であるため、このコースは日本での学習だけでなく海外留学の準備にもなる。

この科目は、語学検定試験で成功するための主要な方法を紹介する。学生は各セッションがどのように採点されるかを学び、筆記および口頭試験でのパフォーマンスを評する採点基準を徹底的に理解する。加えて、幅広いトピックに対する批判的思考を用いたアプローチによって、語学検定試験の準備をする。

## ■Effective Communication

### 4FF141 Business English

#### 【到達目標】

This course is designed to develop effective communication skills in business by enabling students to:

1. acquire basic knowledge of business language used in the international business scenes in both spoken and written English.
2. develop communication skills which could be helpful for proactive participation in today's work environment.
3. have a glimpse of the topics related to business and social issues with a wider perspective, while nurturing their ability to read excerpts of newspapers and other materials addressed to the international readership critically.

ビジネスの場面における効果的なコミュニケーションスキルを養うために、以下を習得する。

1. 国際的なビジネス・シーンで使用される話し言葉・書き言葉双方のビジネス英語の基礎を学ぶ。
2. 今日の職場環境に積極的に参加する一助となりうるコミュニケーション・スキルを養成する。
3. 学生が国際的な読者層を対象とする新聞等の資料の抜粋を批判的に読む力を養成し、ビジネスおよび社会問題に関連するトピックの一端により広い視野から触れる端緒とする。

【概要】 This course provides the opportunity for students to develop their professional English skills both for seeking employment and on-the-job situations. Students will cultivate their ability to work with diverse groups of people and develop their communication as well as intercultural skills.

This course will prepare students for their participation in the international arena in future. Through the activities which include reading excerpts of authentic materials such as newspapers addressed to the international readership, together with participation in group works evoking real-life business scenes, it enables students to learn the basics of business English and communication skills including reading and writing business related documents, writing CVs, attending job interviews, and so on. Through the observation of the examples of business-related expressions and conversations, students will deepen their understanding of different cultures and senses of values, while looking at various topics in the contemporary society from a wider perspective.

この科目は、就職活動や仕事上の場面で、専門的な英語力を身につける機会を提供する。多様な人々と仕事をする能力を養い、コミュニケーション能力だけでなく、異文化対応能力も習得する。

この科目は学生が将来国際的な舞台に参加するための準備を整えることを目的とする。国際的な読者を対象とする新聞の原文の抜粋等の読解や、現実のビジネス・シーンを想起させるグループ・ワーク等のアクティビティを通じて、学生はビジネスに関連する文書の読み書き、履歴書の書き方、面接の出席等を含む、ビジネス英語とコミュニケーション・スキルの基礎を学ぶ。加えて、ビジネスに関わる表現や会話の例等の観察を通して、異なる文化や価値観への理解を深め、現代社会の様々なトピックの一端をより広い視野から捉える。

#### 4FF142 Pronunciation

##### 【到達目標】

In this course students will learn to communicate effectively by:

1. developing multiple aspects of pronunciation, including intonation, word stress, and sentence stress, through pair and group speaking activities.
2. being introduced to pronunciation found in various Englishes.
3. applying the pronunciation skills they learn about on the course for group discussions and presentations.

効果的なコミュニケーションスキルを身につけるために、以下を習得する。

1. ペアやグループでのスピーキング・アクティビティを通じて、イントネーション、単語の強弱、文の強弱など、学習者の発音の様々な側面を発展させる。
2. 様々な英語に見られる発音を紹介する。
3. このコースで学んだ発音スキルをグループ・ディスカッションやプレゼンテーションで活用できるようにする。

【概要】 This course is designed to enhance skills necessary for succeeding in academic communication. Students will be able to consolidate their ability to gain knowledge and study effectively. They can become learners who are able to reflect on their own strengths and weaknesses and become responsible for their successes. This course will develop students' pronunciation through practical activities and feedback and introduce them to pronunciations found in a wide range of Englishes. この科目は、学術的なコミュニケーションで成功するために必要なスキルを高めることを目的とする。学生は、得た知識を使って効果的に勉強する能力を固めることができるようになる。自分の長所と短所を振り返り、成功に責任を持つことができる学習者になることができる。

この科目では、実践的なアクティビティとフィードバックを通じて学生の発音を向上させる。さらに、幅広い種類の英語に見られる様々な発音を紹介する。

#### 4FF143 英語音声学

##### 【到達目標】

- ・英語の音声的特徴および発音の仕方に関する基本的概念を理解する。
- ・英語独特の強勢パターン、イントネーション、リズム感を含む英語らしい発音を習得する。

【概要】 英語独特の音声的特徴の基本的知識を学ぶとともに、英語の発音の仕方を身につけることを目的とする。母音の構成、子音の種類、音節の成り立ち、音のつながり、語・句・文の各レベルにおける強勢パターン、イントネーション、リズムなどについて、日本語との違いを念頭に置きながら学習する。同時に、音声教材やインタラクティブなトレーニング教材などを用いて、英語の発音の実践練習を行い、英語らしい発音の仕方を体得する。

#### ■Integrated Learning Elective

#### 4FF151 Extensive Reading

##### 【到達目標】

In this integrated learning course students will further develop their skills by:

1. reading extensively using graded readers at an appropriate level to further strengthen knowledge of high frequency vocabulary.
2. identifying and discussing elements of fiction (e.g. character, plot, theme).
3. formulating discussion questions about what they have read to develop critical thinking.

英語4技能を統合させた Integrated Skills 型の本授業では、学生はリーディングのスキルをさらに磨き上げるため、以下を習得する。

1. 頻繁に使用する語彙の知識をさらに強化するために、適切なレベルの多読リーダーを用いて多読する。
2. フィクションの要素（登場人物、プロット、主題など）を特定し、議論する。
3. 批判的思考を養うために、読んだ内容について議論の論点となる質問を作成する。

【概要】 This course is designed to enhance skills necessary for succeeding in academic communication. Students will be able to consolidate their ability to gain knowledge and study effectively. They can become learners who are able to reflect on their own strengths and weaknesses and become responsible for their successes. Students will maintain a reading journal: recording book titles and word counts, summarising plot, and reacting personally to what they have read. Students will discuss the books in Literature Circles, taking turns in different roles (Discussion Leader, Summariser, Word Master, Culture Connector).

この科目は、学術的なコミュニケーションで成功するために必要なスキルを高めることを

目的とする。学生は、得た知識を使って効果的に勉強する能力を固めることができるようになる。自分の長所と短所を振り返り、成功に責任を持つことができる学習者になることができる。

この科目では学生は読書日誌を付け、読んだ本のタイトルと文字数を記録し、プロットを要約し、読んだ内容についての各自の視点からの考察を論述する。学生は少人数のグループ（文学サークル）を作り、多様な役割（ディスカッション・リーダー、要約担当者、ワード・マスター、文化コネクター）を交代で担当しながら、本について議論する。

#### 4FF152 Study Skills

##### 【到達目標】

In this integrating learning course students will learn how to:

1. manage timetable study schedules and digital life, such as files and email.
2. employ effective strategies to learn English vocabulary, including dictionaries and other online study tools/apps.
3. practice being an active student by learning to ask questions in class, send appropriate emails, and visit professors during office hours.

英語4技能を統合させた Integrated Skills 型の本授業では、以下を習得する。

1. 時間割学習スケジュールとファイルや電子メールなどのデジタルライフを管理する。
2. 辞書やその他のオンライン学習ツール/アプリを含む、英語の語彙を学ぶ効果的な方法を学習する。
3. 授業中に質問する、適切な電子メールを送信する、オフィスアワーに教員に会う方法を学び、活発な学生になる。

【概要】 This course is designed to enhance skills necessary for succeeding in academic communication. Students will be able to consolidate their ability to gain knowledge and study effectively. They can become learners who are able to reflect on their own strengths and weaknesses and become responsible for their successes. This course will equip students with essential study skills they need to succeed in their university courses. Emphasis will be given on how to develop their English abilities through online tools, apps as well as on-campus resources.

この科目は、学術的なコミュニケーションで成功するために必要なスキルを高めることを目的とする。学生は、得た知識を使って効果的に勉強する能力を固めることができるようになる。自分の長所と短所を振り返り、成功に責任を持つことができる学習者になることができる。

この科目では、学生は大学での学修を全うするために必要となる、必須の学習スキルを身につける。オンライン・ツール、アプリ、キャンパス内のリソースを通じて英語力を伸ばす方法に重点が置かれる。

#### 4FF161 Intensive English

##### 【到達目標】

聞き、話し、読み、書く 4 技能を伸ばす。

【概要】 この科目は、本学が企画し外国の大学が提供する語学研修（英語）、および本学があらかじめ認めた外国の大学が実施する語学研修（英語）に参加した学生が、所定の成績を修めた場合の単位認定科目である。語学研修は、聞き、話し、読み、書く 4 技能にわたる語学力の向上と異文化体験による自己研鑽をはかることを目的に実施され、参加学生のレベルを考慮したクラス編成により授業が行われる。学生には、事前学習会等への出席が義務付けられている他、準備段階から積極的に自己の語学力を高めていく努力が望まれる。

#### 4FF171 日本語Ⅰ（入門）

##### 【到達目標】

・外国人留学生が大学での学習に必要な基礎的な日本語スキルを習得する。

【概要】 外国人留学生が大学での学習に必要な基礎的な日本語スキルを習得することを目標とする。「日本語Ⅰ（入門）」は、入門として受講者の日本語能力を考慮し、運用能力の向上を目指す。受講者個々の理解度を確認しつつ、2名の担当者が相互に連絡・調整を行いながら進める。「日本語Ⅱ（応用）」とともに第一外国語の必修単位である。週4コマの授業。

#### 4FF172 日本語Ⅱ（応用）

##### 【到達目標】

・外国人留学生が大学での学習に必要な日本語運用能力を高める。

【概要】 外国人留学生が大学での学習に必要な基礎的な日本語スキルを習得することを目標とする。「日本語Ⅰ（入門）」で学んだことを応用して、さらに日本語の運用能力の向上を目指す。専門科目等で必要な発表、プレゼンテーションの技術も修得する。受講生個々の理解度を確認しつつ、担当者相互に連絡・調整を行いながら進める。「日本語Ⅰ（入門）」とともに第一外国語の必修単位である。週4コマの授業。

## (7) 第二外国語科目

### 《教育目標》

- ・異なる言語文化の多様なあり方に接することによって、バランスのとれた国際感覚を身につける。
- ・選択必修科目（初級）では、正確な発音、基本的な文法のシステム、日常生活に必要な表現、語彙を集中的に学び、言語運用に不可欠な基礎的な力を培う。
- ・選択科目では、初級で習得した基礎を踏まえ、各自の学問的関心、卒業研究をはじめとした専

門分野の研究にも応用可能な外国語の力を養う。

#### 4FF201 ドイツ語初級 1

##### 【到達目標】

- ・ドイツ語を応用するための基礎を修める。
- ・ドイツ語の基本的な文法のシステムの初歩を体系的に習得する。
- ・ドイツ語の正確な発音の基礎を身につけ、日常生活に必要な表現、語彙の初歩を習得する。

【概要】 初級 1 では、正確な発音、基本的な文法のシステム、日常生活に必要な表現、語彙の初歩を集中的に学び、言語運用に不可欠な基礎的な力を培う。

ドイツ語は、英語やオランダ語などとともに西ゲルマン語に属し、語彙や文法など様々な面で英語との共通点が多い。それゆえ、ドイツ語を学ぶことによって英語を客観的に見る視点を養い、類縁言語比較の面白さを感じ得できるようになることも視野に入れる。

異文化理解への目を開くと同時に、現代社会のグローバル化に伴い英語圏以外の地域に知識の幅を広げることを目的とする。

#### 4FF202 フランス語初級 1

##### 【到達目標】

- ・フランス語を応用するための基礎を修める。
- ・フランス語の基本的な文法のシステムの初歩を体系的に習得する。
- ・フランス語の正確な発音の基礎を身につけ、日常生活に必要な表現、語彙の初歩を習得する。

【概要】 初級 1 では、正確な発音、基本的な文法のシステム、日常生活に必要な表現、語彙の初歩を集中的に学び、言語運用に不可欠な基礎的な力を培う。論理的な明晰性と洗練を特徴とし、18 世紀以降国際外交語としての地位を保ってきたフランス語

は、ラテン語をもとにできた言語である。英語の語彙はラテン語やフランス語の影響を強く受けて発展してきたので、相互に学習を助け合える英仏 2 言語の学習が、国際人へと成長する第一歩となるよう、学力の向上を図る。異文化理解への目を開くと同時に、現代社会のグローバル化に伴い英語圏以外の地域に知識の幅を広げることを目的とする。

#### 4FF203 スペイン語初級 1

##### 【到達目標】

- ・スペイン語を応用するための基礎を修める。
- ・スペイン語の基本的な文法のシステムの初歩を体系的に習得する。
- ・スペイン語の正確な発音の基礎を身につけ、日常生活に必要な表現、語彙の初歩を習得する。

【概要】 初級 1 では、正確な発音、基本的な文法のシステム、日常生活に必要な表現、語

彙を集中的に学び、言語運用に不可欠な基礎的な力を培う。

スペイン語は、母語人口で世界第2位、国際連合の公用語の一つであり、公用語としている国も20カ国にのぼる。また、現代のアメリカ社会を学ぼうとするにはスペイン語は欠かせない。世界の人々と交流し、国際的にも通用し得る学力の習得に至るよう向上を図る。異文化理解への目を開くと同時に、現代社会のグローバル化に伴い英語圏以外の地域に知識の幅を広げることを目的とする。

#### 4FF204 中国語初級1

##### 【到達目標】

- ・中国語を応用するための基礎を修める。
- ・中国語の基本的な文法のシステムを体系的に習得する。
- ・中国語の正確な発音の基礎を身につけ、日常生活に必要な表現、語彙を習得する。

【概要】 初級1では、正確な発音、音の表記に最も広く用いられているピンイン（ローマ字を用いる）、基本的な文法のシステム、日常生活に必要な表現、語彙を集中的に学び、言語運用に不可欠な基礎的な力を培う。

中国語は、東アジア歴史、文化について学び、これへの理解を深めようとする者にとって、欠かせない言語の一つである。異文化理解への目を開くと同時に、現代社会のグローバル化に伴い英語圏以外の地域に知識の幅を広げることを目的とする。

#### 4FF205 韓国語初級1

##### 【到達目標】

- ・韓国語を応用するための基礎を修める。
- ・韓国語の基本的な文法のシステムを体系的に習得する。
- ・韓国語の正確な発音の基礎を身につけ、日常生活に必要な表現、語彙を習得する。

【概要】 初級1では、ハングルを覚え、正確な発音、基本的な文法のシステム、日常生活に必要な表現、語彙を集中的に学び、言語運用に不可欠な基礎的な力を培う。

日本語に非常によく似た外国語である韓国語は日本人にとって習得し易く、合理的に工夫された表音文字であるハングルを覚えたら、文法を習得するのは比較的容易である。しかし「似ている」と思われている隣り合う日韓の文化には大きく異なる面もある。韓国語の学習を通して、異なった文化や考え方に触れる貴重な機会ともさせる。異文化理解への目を開くと同時に、現代社会のグローバル化に伴い英語圏以外の地域に知識の幅を広げることを目的とする。

#### 4FF211 ドイツ語初級2

##### 【到達目標】

- ・ドイツ語を応用するための基礎を修める。

- ・ドイツ語初級1の学修を受け、文法の基本的な文法のシステムを発展的に習得する。
- ・ドイツ語初級1の学修を受け、日常生活に必要な表現、語彙を発展的に習得する。

**【概要】** 初級2では、初級1の学修を受け、正確な発音、基本的な文法のシステム、日常生活に必要な表現、語彙を集中的に学び、言語運用に不可欠な基礎的な力を発展させる。一通りの基本学習を終えた後は、比較的平易な文の読解や作文練習などによって語彙や表現の拡大を目指す。

ドイツ語は、英語やオランダ語などとともに西ゲルマン語に属し、語彙や文法など様々な面で英語との共通点が多い。それゆえ、ドイツ語を学ぶことによって英語を客観的に見る視点を養い、類縁言語比較の面白さを感じ得できるようになることも視野に入れる。

異文化理解への目を開くと同時に、現代社会のグローバル化に伴い英語圏以外の地域に知識の幅を広げることを目的とする。

#### 4FF212 フランス語初級2

##### 【到達目標】

- ・フランス語を応用するための基礎を修める。
- ・フランス語初級1の学修を受け、文法の基本的な文法のシステムを発展的に習得する。
- ・フランス語初級1の学修を受け、日常生活に必要な表現、語彙を発展的に習得する。

**【概要】** 初級2では、初級1の学修を受け、正確な発音、基本的な文法のシステム、日常生活に必要な表現、語彙を集中的に学び、言語運用に不可欠な基礎的な力を発展させる。一通りの基本学習を終えた後は、比較的平易な文の読解や作文練習などによって語彙や表現の拡大を目指す。

論理的な明晰性と洗練を特徴とし、18世紀以降国際外交語としての地位を保ってきたフランス語は、ラテン語をもとにできた言語である。英語の語彙はラテン語やフランス語の影響を強く受けて発展してきたので、相互に学習を助け合える英仏2言語の学習が、国際人へと成長する第一歩となるよう、学力の向上を図る。異文化理解への目を開くと同時に、現代社会のグローバル化に伴い英語圏以外の地域に知識の幅を広げることを目的とする。

#### 4FF213 スペイン語初級2

##### 【到達目標】

- ・スペイン語を応用するための基礎を修める。
- ・スペイン語初級1の学修を受け、文法の基本的な文法のシステムを発展的に習得する。
- ・スペイン語初級1の学修を受け、日常生活に必要な表現、語彙を発展的に習得する。

**【概要】** 初級2では、初級1の学修を受け、正確な発音、基本的な文法のシステム、日常生活に必要な表現、語彙を集中的に学び、言語運用に不可欠な基礎的な力を発展させる。一通りの基本学習を終えた後は、比較的平易な文の読解や作文練習などによって語彙や表現の拡大を目指す。

スペイン語は、母語人口で世界第2位、国際連合の公用語の一つであり、公用語としている国も20カ国にのぼる。また、現代のアメリカ社会を学ぼうとするにはスペイン語は欠かせない。世界の人々と交流し、国際的にも通用し得る学力の習得に至るよう向上を図る。異文化理解への目を開くと同時に、現代社会のグローバル化に伴い英語圏以外の地域に知識の幅を広げることを目的とする。

#### 4FF214 中国語初級2

##### 【到達目標】

- ・中国語を応用するための基礎を修める。
- ・中国語初級1の学修を受け、文法の基本的な文法のシステムを発展的に習得する。
- ・中国語初級1の学修を受け、日常生活に必要な表現、語彙を発展的に習得する。

【概要】 初級2では、初級1の学修を受け、正確な発音、音の表記に最も広く用いられているピンイン（ローマ字を用いる）、基本的な文法のシステム、日常生活に必要な表現、語彙を集中的に学び、言語運用に不可欠な基礎的な力を発展させる。一通りの基本学習を終えた後は、比較的平易な文の読解や作文練習などによって語彙や表現の拡大を目指す。中国語は、東アジア歴史、文化について学び、これへの理解を深めようとする者にとって、欠かせない言語の一つである。異文化理解への目を開くと同時に、現代社会のグローバル化に伴い英語圏以外の地域に知識の幅を広げることを目的とする。

#### 4FF215 韓国語初級2

##### 【到達目標】

- ・韓国語を応用するための基礎を修める。
- ・韓国語初級1の学修を受け、文法の基本的な文法のシステムを発展的に習得する。
- ・韓国語初級1の学修を受け、日常生活に必要な表現、語彙を発展的に習得する。

【概要】 初級2では、初級1の学修を受け、ハングルを覚え、正確な発音、基本的な文法のシステム、日常生活に必要な表現、語彙を集中的に学び、言語運用に不可欠な基礎的な力を発展させる。一通りの基本学習を終えた後は、比較的平易な文の読解や作文練習などによって語彙や表現の拡大を目指す。

日本語に非常によく似た外国語である韓国語は日本人にとって習得し易く、合理的に工夫された表音文字であるハングルを覚えたら、文法を習得するのは比較的容易である。しかし「似ている」と思われている隣り合う日韓の文化には大きく異なる面もある。韓国語の学習を通して、異なった文化や考え方に触れる貴重な機会ともさせる。異文化理解への目を開くと同時に、現代社会のグローバル化に伴い英語圏以外の地域に知識の幅を広げることを目的とする。

#### 4FF311 ドイツ語（読解）

### 【到達目標】

- ・平均的な難度の内容・構文の、ある程度まとまりを持った長さの文章を、一定の時間で読み取り、内容を理解できる力を身に着ける。
- ・既習の文法知識をさらに発展させ、読解に役立てる実践的方法を習得する。
- ・使用頻度の高い一般的な語彙、表現を体系的に習得するとともに、専門的な文章に対応するための基礎的な読解力を身に着ける。
- ・読解力の向上を通して、ドイツ語文化圏への理解を深める。

【概要】 読解力の養成を主たる目標とし、幅広いジャンルのテキストを教材に用いて、さらに複雑な構文、発展的語彙の理解と習得に努める。テキストを隅々まで正確に精読する訓練と、限られた時間で長文の大意を掴む訓練の、両者を平行して行う。併せてテキストの背景をなすドイツ語圏の歴史・社会・文化への理解を一層深めることを図る。専攻する分野の学習や、社会人としての活動にも役立つよう、総合的な授業を行う。

## 4FF312 ドイツ語（会話）

### 【到達目標】

- ・日常会話でよく使われる語彙や表現を身につける。
- ・実践的で応用範囲の広い、口頭でのコミュニケーション技能の基礎を習得する。
- ・会話を軸として、ドイツ語を正しく運用し、意思を疎通させる力を身につける。
- ・「聞く・話す」力と「読む・書く」力を関連付ける総合的な語学能力の基礎を習得する。

【概要】 初級で学んだ基礎の発展を目指す。専門科目履修に必要な外国語の力を、様々な教材を用いて養うと同時に、異なる言語文化の多様なあり方に接し、高度の一般教養を培う役割も果たす授業を設けている。本科目においては、聞く力をつけながら、口頭による表現力を向上させることを主眼とする。

## 4FF313 ドイツ語（総合）

### 【到達目標】

- ・「書く・聞く・話す・読む」力を関連付ける総合的な語学能力の基礎を習得する。
- ・各種検定試験に対応した実践的な語学力を身につける。
- ・既習の知識を発展させ、正しいドイツ語の文章を作るために必要な語学力を習得する。

【概要】 初級で習得した、正確な発音、基本的な文法のシステム、日常生活に必要な表現、語彙を発展させ、言語運用に不可欠な総合的な力を培う。この授業では各種検定試験合格を目的として、実用的な語学力を身につける訓練を行う。また専門科目履修に必要な外国語の力を、様々な教材を用いて養うと同時に、異なる言語文化の多様なあり方に接し、高度の一般教養を培う役割も果たす授業を設けている。

## 4FF321 フランス語（読解）

### 【到達目標】

- ・平均的な難度の内容・構文の、ある程度まとまりを持った長さの文章を、一定の時間で読み取り、内容を理解できる力を身に着ける。
- ・既習の文法知識をさらに発展させ、読解に役立てる実践的方法を習得する。
- ・使用頻度の高い一般的な語彙、表現を体系的に習得するとともに、専門的な文章に対応するための基礎的な読解力を身に着ける。
- ・読解力の向上を通して、フランス語文化圏への理解を深める。

【概要】 読解力の養成を主たる目標とし、幅広いジャンルのテキストを教材に用いて、さらに複雑な構文、発展的語彙の理解と習得に努める。テキストを隅々まで正確に精読する訓練と、限られた時間で長文の大意を掴む訓練の、両者を平行して行う。併せてテキストの背景をなすフランス語圏の歴史・社会・文化への理解を一層深めることを図る。専攻する分野の学習や、社会人としての活動にも役立つよう、総合的な授業を行う。

## 4FF322 フランス語（会話）

### 【到達目標】

- ・日常会話でよく使われる語彙や表現を身につける。
- ・実践的で応用範囲の広い、口頭でのコミュニケーション技能の基礎を習得する。
- ・会話を軸として、フランス語を正しく運用し、意思を疎通させる力を身につける。
- ・「聞く・話す」力と「読む・書く」力を関連付ける総合的な語学能力の基礎を習得する。

【概要】 初級で学んだ基礎の発展を目指す。専門科目履修に必要な外国語の力を、様々な教材を用いて養うと同時に、異なる言語文化の多様なあり方に接し、高度の一般教養を培う役割も果たす授業を設けている。本科目においては、聞く力をつけながら、口頭による表現力を向上させることを主眼とする。

## 4FF323 フランス語（総合）

### 【到達目標】

- ・「書く・聞く・話す・読む」力を関連付ける総合的な語学能力の基礎を習得する。
- ・各種検定試験に対応した実践的な語学力を身につける。
- ・既習の知識を発展させ、正しいドイツ語の文章を作るために必要な語学力を習得する。

【概要】 初級で習得した、正確な発音、基本的な文法のシステム、日常生活に必要な表現、語彙を発展させ、言語運用に不可欠な総合的な力を培う。この授業では各種検定試験合格を目的として、実用的な語学力を身につける訓練を行う。また専門科目履修に必要な外国語の力を、様々な教材を用いて養うと同時に、異なる言語文化の多様なあり方に接し、高度の一般教養を培う役割も果たす授業を設けている。

## 4FF331 スペイン語（読解）

### 【到達目標】

- ・平均的な難度の内容・構文の、ある程度まとまりを持った長さの文章を、一定の時間で読み取り、内容を理解できる力を身に着ける。
- ・既習の文法知識をさらに発展させ、読解に役立てる実践的方法を習得する。
- ・使用頻度の高い一般的な語彙、表現を体系的に習得するとともに、専門的な文章に対応するための基礎的な読解力を身に着ける。
- ・読解力の向上を通して、スペイン語文化圏への理解を深める。

【概要】 読解力の養成を主たる目標とし、幅広いジャンルのテキストを教材に用いて、さらに複雑な構文、発展的語彙の理解と習得に努める。テキストを隅々まで正確に精読する訓練と、限られた時間で長文の大意を掴む訓練の、両者を平行して行う。併せてテキストの背景をなすスペイン語圏の歴史・社会・文化への理解を一層深めることを図る。専攻する分野の学習や、社会人としての活動にも役立つよう、総合的な授業を行う。

## 4FF332 スペイン語（会話）

### 【到達目標】

- ・日常会話でよく使われる語彙や表現を身につける。
- ・実践的で応用範囲の広い、口頭でのコミュニケーション技能の基礎を習得する。
- ・会話を軸として、スペイン語を正しく運用し、意思を疎通させる力を身につける。
- ・「聞く・話す」力と「読む・書く」力を関連付ける総合的な語学能力の基礎を習得する。

【概要】 初級で学んだ基礎の発展を目指す。専門科目履修に必要な外国語の力を、様々な教材を用いて養うと同時に、異なる言語文化の多様なあり方に接し、高度の一般教養を培う役割も果たす授業を設けている。

本科目においては、聞く力をつけながら、口頭による表現力を向上させることを主眼とする。

## 4FF333 スペイン語（総合）

### 【到達目標】

- ・「書く・聞く・話す・読む」力を関連付ける総合的な語学能力の基礎を習得する。
- ・各種検定試験に対応した実践的な語学力を身につける。
- ・既習の知識を発展させ、正しいスペイン語の文章を作るために必要な語学力を習得する。

【概要】 初級で習得した、正確な発音、基本的な文法のシステム、日常生活に必要な表現、語彙を発展させ、言語運用に不可欠な総合的な力を培う。この授業では各種検定試験合格を目的として、実用的な語学力を身につける訓練を行う。また専門科目履修に必要な外国語の力を、様々な教材を用いて養うと同時に、異なる言語文化の多様なあり方に接し、高度の一般教養を培う役割も果たす授業を設けている。

#### 4FF341 中国語（読解）

##### 【到達目標】

- ・平均的な難度の内容・構文の、ある程度まとまりを持った長さの文章を、一定の時間で読み取り、内容を理解できる力を身に着ける。
- ・既習の文法知識をさらに発展させ、読解に役立つ実践的方法を習得する。
- ・使用頻度の高い一般的な語彙、表現を体系的に習得するとともに、専門的な文章に対応するための基礎的な読解力を身に着ける。
- ・読解力の向上を通して中国語文化圏への理解を深める。

【概要】 読解力の養成を主たる目標とし、幅広いジャンルのテキストを教材に用いて、さらに複雑な構文、発展的語彙の理解と習得に努める。テキストを隅々まで正確に精読する訓練と、限られた時間で長文の大意を掴む訓練の、両者を平行して行う。併せてテキストの背景をなす中国語圏の歴史・社会・文化への理解を一層深めることを図る。専攻する分野の学習や、社会人としての活動にも役立つよう、総合的な授業を行う。

#### 4FF342 中国語（会話）

##### 【到達目標】

- ・日常会話でよく使われる語彙や表現を身につける。
- ・実践的で応用範囲の広い、口頭でのコミュニケーション技能の基礎を習得する。
- ・会話を軸として、中国語を正しく運用し、意思を疎通させる力を身につける。
- ・「聞く・話す」力と「読む・書く」力を関連付ける総合的な語学能力の基礎を習得する。

【概要】 初級で学んだ基礎の発展を目指す。専門科目履修に必要な外国語の力を、様々な教材を用いて養うと同時に、異なる言語文化の多様なあり方に接し、高度の一般教養を培う役割も果たす授業を設けている。

本科目においては、聞く力をつけながら、口頭による表現力を向上させることを主眼とする。

#### 4FF343 中国語（総合）

##### 【到達目標】

- ・「書く・聞く・話す・読む」力を関連付ける総合的な語学能力の基礎を習得する。
- ・各種検定試験に対応した実践的な語学力を身につける。
- ・既習の知識を発展させ、正しい中国語の文章を作るために必要な語学力を習得する。

【概要】 初級で習得した、正確な発音、基本的な文法のシステム、日常生活に必要な表現、語彙を発展させ、言語運用に不可欠な総合的な力を培う。この授業では各種検定試験合格を目的として、実用的な語学力を身につける訓練を行う。また専門科目履修に必要な外国語の力を、様々な教材を用いて養うと同時に、異なる言語文化の多様なあり方に接し、高度の一般教養を培う役割も果たす授業を設けている。

#### 4FF351 韓国語（読解）

##### 【到達目標】

- ・平均的な難度の内容・構文の、ある程度まとまりを持った長さの文章を、一定の時間で読み取り、内容を理解できる力を身に着ける。
- ・既習の文法知識をさらに発展させ、読解に役立てる実践的方法を習得する。
- ・使用頻度の高い一般的な語彙、表現を体系的に習得するとともに、専門的な文章に対応するための基礎的な読解力を身に着ける。
- ・読解力の向上を通して韓国語文化圏への理解を深める。

【概要】 読解力の養成を主たる目標とし、幅広いジャンルのテキストを教材に用いて、さらに複雑な構文、発展的語彙の理解と習得に努める。テキストを隅々まで正確に精読する訓練と、限られた時間で長文の大意を掴む訓練の、両者を平行して行う。併せてテキストの背景をなす韓国語圏の歴史・社会・文化への理解を一層深めることを図る。専攻する分野の学習や、社会人としての活動にも役立つよう、総合的な授業を行う。

#### 4FF352 韓国語（会話）

##### 【到達目標】

- ・日常会話でよく使われる語彙や表現を身につける。
- ・実践的で応用範囲の広い、口頭でのコミュニケーション技能の基礎を習得する。
- ・会話を軸として、韓国語を正しく運用し、意思を疎通させる力を身につける。
- ・「聞く・話す」力と「読む・書く」力を関連付ける総合的な語学能力の基礎を習得する。

【概要】 初級で学んだ基礎の発展を目指す。専門科目履修に必要な外国語の力を、様々な教材を用いて養うと同時に、異なる言語文化の多様なあり方に接し、高度の一般教養を培う役割も果たす授業を設けている。

本科目においては、聞く力をつけながら、口頭による表現力を向上させることを主眼とする。

#### 4FF353 韓国語（総合）

##### 【到達目標】

- ・「書く・聞く・話す・読む」力を関連付ける総合的な語学能力の基礎を習得する。
- ・各種検定試験に対応した実践的な語学力を身につける。
- ・既習の知識を発展させ、正しい韓国語の文章を作るために必要な語学力を習得する。

【概要】 初級で習得した、正確な発音、基本的な文法のシステム、日常生活に必要な表現、語彙を発展させ、言語運用に不可欠な総合的な力を培う。この授業では各種検定試験合格を目的として、実用的な語学力を身につける訓練を行う。また専門科目履修に必要な外国語の力を、様々な教材を用いて養うと同時に、異なる言語文化の多様なあり方に接し、高

度の一般教養を培う役割も果たす授業を設けている。

#### 4FF401 中国と日本の文学文化 A

##### 【到達目標】

- ・中国文学の多様なジャンルと中国文学における作家と社会との関係について理解する。特に、近代中国における文学のジャンル形成・受容の持った意味について考察し理解する。
- ・まとまりをもった文章（原文）を精読することによって、中国文学及び日本文学の作品を深く理解する。さらに、読解力の向上を通して日本及び中国語文化圏への理解を深める。
- ・明治期から戦中期までの文化交流・政治的摩擦・戦争等のもたらした意味を中心に考察を深め、日本と中国の文学・文化の関係性について多角的に理解する。

**【概要】** 近代における中国文学と日本文学のかかわりを中心に、両文化の交流の様相や相違点などについて多角的に考察する。初級で習得した中国語の能力を応用して実際に中国と日本の文学作品等を読み解き、さらに積極的な意見発表・問題提起を行うことを重視する。主な検討対象は明治期以降戦前・戦中期の文学・文化（小説・詩・評論その他）とするが、必要に応じて前近代の古典文化・文学についても参照する。併せて近現代における日中関係や中国の文化社会的背景の理解にも留意し、総合的に日本文化と中国文化への理解を深める。

#### 4FF402 中国と日本の文学文化 B

##### 【到達目標】

- ・中国文学の多様なジャンルと中国文学における作家と社会との関係について理解する。更に、20 世紀後半の中国と日本における文学・文化の発展が相互に与えた影響について考察し理解する。
- ・まとまりをもった文章（原文）を精読することによって、中国文学及び日本文学の作品を深く理解する。さらに、読解力の向上を通して日本及び中国語文化圏への理解を深める。
- ・現代中国と現代日本の間の文化的な接触や政治的な断絶等に留意し、日本と中国の文学・文化の関係性について総合的に理解する。

**【概要】** 現代における中国文学と日本文学のかかわりを中心に、両文化の交流の様相や相違点などについて多角的に考察する。初級で習得した中国語の能力を応用して実際に中国と日本の文学作品等を読み解き、さらに積極的な意見発表・問題提起を行うことを重視する。主な検討対象は戦後の文学や文化（小説や評論から映画・演劇等まで含む）とするが、必要に応じて近代の文化現象や前近代の古典文化・文学についても参照する。併せて近現代における日中関係や中国の文化社会的背景の理解にも留意し、総合的に日本文化と中国文化への理解を深める。

#### 4FF403 ドイツの歴史と文化 A

### 【到達目標】

- ・平均的な難度の内容・構文の、ナチス台頭以降敗戦に至るドイツ史に関連するドイツ語の文章を、一定の時間で読み取り、内容を理解できる力を身に着ける。
- ・既習のドイツ語文法知識をさらに発展させ、読解に役立てる実践的方法を習得する。
- ・使用頻度の高い一般的な語彙、表現を体系的に習得するとともに、専門的な文章に対応するための基礎的な読解力を身に着ける。
- ・読解力の向上を通して、ドイツ語文化圏への理解を深める。

【概要】 ドイツ語の読解力の養成と、ナチス台頭以降敗戦に至るドイツ現代史に関する基礎知識の習得、それを通じた広く現代ドイツ語圏文化の理解の深化を目標とする。テキストを隅々まで正確に精読する訓練と、限られた時間で長文の大意を掴む訓練の、両者を平行して行う。併せてテキストの背景をなすドイツ語圏の歴史・文化への理解を一層深めることを図る。専攻する分野の学習や、社会人としての活動にも役立つよう、総合的な授業を行う。

## 4FF404 ドイツの歴史と文化 B

### 【到達目標】

- ・平均的な難度の内容・構文の、戦間期ドイツ史に関連するドイツ語の文章を、一定の時間で読み取り、内容を理解できる力を身に着ける。
- ・既習のドイツ語文法知識をさらに発展させ、読解に役立てる実践的方法を習得する。
- ・使用頻度の高い一般的な語彙、表現を体系的に習得するとともに、専門的な文章に対応するための基礎的な読解力を身に着ける。
- ・読解力の向上を通して、ドイツ語文化圏への理解を深める。

【概要】 ドイツ語の読解力の養成と、ドイツ現代史（特に戦間期）に関する基礎知識の習得、それを通じた広く現代ドイツ語圏文化の理解の深化を目標とする。テキストを隅々まで正確に精読する訓練と、限られた時間で長文の大意を掴む訓練の、両者を平行して行う。併せてテキストの背景をなすドイツ語圏の歴史・文化への理解を一層深めることを図る。専攻する分野の学習や、社会人としての活動にも役立つよう、総合的な授業を行う。

## (8)ギリシア語・ラテン語科目

### 《教育目標》

- ・西洋古典語の基礎文法を習得し、原典を読み解く力の基礎を身につけるとともに、西洋の思想・文化への理解を深める。

## 4FF501 ギリシア語初級 1

### 【到達目標】

- ・ 古典ギリシア語の音読の方法を習得する。
- ・ 古典ギリシア語の基礎文法のうち、基本的な項目について理解する。

【概要】 西洋思想の源流であるギリシア哲学や新約聖書をより深く理解するためには、古典ギリシア語の単語や文法について一定の知識が必要となる。この授業では、音読の方法や名詞・動詞・形容詞の基礎的な変化を理解することを通じて、古典ギリシア語が持つ基本的な性格を概観することを目指す。

## 4FF502 ギリシア語初級2

### 【到達目標】

- ・ 古典ギリシア語の基礎文法のうち、応用的な項目について理解する。
- ・ 古典ギリシア語で書かれた原典を読み解く力の基礎を身につける。

【概要】 この授業では、「ギリシア語初級1」に引き続き古典ギリシア語の基礎文法の習得を進める。

名詞・形容詞の第三変化や動詞の中動・受動相、接続法などを理解することを通じて、古典ギリシア語で書かれた原典を読み解く力の基礎を養う。

## 4FF503 ラテン語初級1

### 【到達目標】

- ・ 古典ラテン語の音読の方法を習得する。
- ・ 古典ラテン語の基礎文法のうち、基本的な項目について理解する。

【概要】 古代から中世を経て近代に至る長い歴史をもつラテン語の規範である古典ラテン語は、人文諸科学を学ぶ者に必須の基本的教養である。この授業では、音読の方法や名詞・動詞・形容詞の基礎的な変化を理解することを通じて、古典ラテン語が持つ基本的な性格を概観することを目指す。

## 4FF504 ラテン語初級2

### 【到達目標】

- ・ 古典ラテン語の基礎文法のうち、応用的な項目について理解する。
- ・ 古典ラテン語で書かれた原典を読み解く力の基礎を身につける。

【概要】 この授業では、「ラテン語初級1」に引き続き古典ラテン語の基礎文法の習得を進める。

動詞の直説法受動相各時制の人称変化、命令法、不定法、分詞の形などを理解することを通じて、古典ラテン語で書かれた原典を読み解く力の基礎を養う。

## 4FF505 ギリシア語中級

**【到達目標】**

- ・ 古典ギリシア語で書かれた原典を読み解くことができる。
- ・ 古代ギリシアの思想・文化への理解を深める。

**【概要】** この授業では、文法事項を確認したうえで、古典ギリシア語で書かれた原典を受講者とともに読み進めていくことにより、古典ギリシア語の時代的・文化的背景への理解を深めていく。

**4FF506 ラテン語中級****【到達目標】**

- ・ 古典ラテン語で書かれた原典を読み解くことができる。
- ・ 古代ローマの思想・文化への理解を深める。

**【概要】** この授業では、文法事項を確認したうえで、古典ラテン語で書かれた原典を受講者とともに読み進めていくことにより、古典ラテン語の時代的・文化的背景への理解を深めていく。

## AI・データサイエンス・スタディーズ

**《教育目標》**

- ・ 情報社会を生きる現代人に必須の基礎学力、教養として、AI・データサイエンス、情報リテラシーに関する基礎的素養を身につける。

### (9) AI・データサイエンス科目

**《教育目標》**

- ・ AI・データサイエンスの基礎的な手法を学ぶことを通じ、社会におけるその重要性と意義を理解する。
- ・ 情報通信社会で必要となる、コンピュータやネットワークに関する基礎的なスキルを習得する。
- ・ 多様なデータ分析の方法を理解し、自らデータから有益な情報、知見を引き出すための実践的なデータ分析力を身につける。

**■DS リテラシー・ICT 科目****4DS101 DS・ICT 入門 I****【到達目標】**

- ・ 社会におけるデータ・AI 活用の現状や留意事項について理解している。

- ・情報分野の基本的なスキルであるコンピュータの操作，電子メール，Web による情報検索や文献検索，ファイルやフォルダの操作ができる。
- ・情報倫理や，セキュリティ，著作権と正しい引用の知識が身についている。
- ・Office ソフトの基本的なスキルが身についている。

**【概要】** インターネットや AI・データサイエンスをはじめとした今日の情報通信社会で必要とされる基礎的な技能と概念を習得し，問題分析能力や問題解決能力を養うことを目的とする。コンピュータの基本操作，インターネット・WWW・電子メールの概念や仕組み，情報の検索と利用，著作権と引用，ファイルシステム，情報倫理，安全対策，ワープロ・表計算・プレゼンテーションの利用，データ・AI の社会での活用方法や留意事項などを学ぶ。

#### 4DS102 DS・ICT 入門 II

##### 【到達目標】

- ・インターネットを利用して学術的な情報検索や文献検索ができる。
- ・Word を利用してレポートや論文の内容を論理的に組み立て，文章化できる。
- ・Excel を利用して大量のデータを的確な方法で分析し，表やグラフで的確な表現ができる。
- ・文章化した内容を，PowerPoint を利用してアカデミックなプレゼンテーション資料として構成し，実際に発表を行うための技法が身についている。

**【概要】** DS・ICT 入門 I をもう 1 段階強化して実践的にアカデミックライティング技術やアカデミックなプレゼンテーション技術を習得する。そのために，Office ソフトを効果的に利用するためのスキルを身につける。あわせて，レポートや論文作成に必要な，大量のデータについて，基本的な分析方法を学び，表やグラフで的確に表現する方法を身に付ける。また資料作成に必要な文献検索の方法やインターネットの利用方法を学び，情報を効率良く検索し批判的に取捨選択し，それらを用いて生産的に自らのレポートや論文，発表資料として構成しなおす作業を，情報技術を用いて効率良く行える力を身に付ける。

#### 4DS201 DS のための数学入門

##### 【到達目標】

- ・データサイエンスで重要な役割を果たす微分積分学や線形代数学，確率統計において，その土台となる数学の基本的な事柄について理解する。
- ・数学の基本事項に関する問題演習を通じて，計算技術を習得する。

**【概要】** データサイエンスの中での数学として，微分積分学，線形代数学，確率統計が基礎的な役割を果たす。これらの科目を学ぶ際に登場する数学の基本的な事柄について解説する。その中で登場する様々な概念に関する計算技術を習得し，具体的な問題への適用を行う。予備知識を仮定せず，文系の学生にもわかりやすく平易に解説する。

#### 4DS202 コンピュータ・サイエンス I

##### 【到達目標】

- ・コンピュータのハードウェアに関する基本的な仕組みを理解する。
- ・コンピュータで扱う情報の数値変換を習得する。
- ・文字の符号化と、画像や音声のデジタル化と圧縮の仕組みを理解する。

【概要】 「コンピュータ・サイエンス II」と併せて受講することにより、コンピュータの基本的な仕組みを理解し、自在に使いこなすための基礎的な素養を身につける。情報処理技術の知識面の基礎を重点的に扱う。この授業では、主に、ハードウェア構成や、コンピュータ上での情報の表現方法に関する知識を学ぶ。これらの内容を、適宜実習を交えることで理解を深める。情報処理技術者試験などの情報処理関連の資格試験の基盤となる内容を広く含む。

#### 4DS203 コンピュータ・サイエンス II

##### 【到達目標】

- ・OSの基本的な仕組みを理解する。
- ・ネットワークの仕組みとセキュリティの基礎について理解する。
- ・ソフトウェアの基本的な動作の仕組みについて理解する。

【概要】 「コンピュータ・サイエンス I」と併せて受講することにより、コンピュータの基礎的な仕組みを理解し、自在に使いこなすための基礎的な素養を身につける。情報処理技術や知識面の基礎を重点的に扱う。この授業では、主にソフトウェアに着目し、OSの仕組みや役割、プログラムの言語処理方式、アルゴリズムやネットワーク等について学ぶ。適宜実習を通して、これらの内容の理解を深める。情報処理技術者試験などの情報処理関連の資格試験の基盤となる内容を広く含む。

#### 4DS204 情報と社会

##### 【到達目標】

- ・情報技術の発展とそれが社会・文化にもたらす変化について理解する。
- ・情報コンテンツの著作権などをめぐる情報倫理の問題について理解する。

【概要】 コンピュータを中心とする情報技術の発達が今日の社会・文化に与えている変化について、歴史的経緯とその意味を考える。コンピュータ技術そのものではなく、そのようなコンピュータのあり方を形成してきた文化的背景を取り上げる。この授業では、現在、インターネットを中心とする情報技術がどのように発展しつつあるのか、またそれがどのような社会・文化の変化をもたらしつつあるのかについて考える。また、その中で、情報コンテンツの著作権などをめぐり、情報倫理の問題がどのように提起され、どのように論じられているのかについても理解する。

#### 4DS205 情報と職業

##### 【到達目標】

- ・情報社会に関するさまざまな調査資料や白書などを見て、職業や労働の状況についての理解を深める。
- ・情報社会での働き方、職業人としての生き方に対して、自分なりの心構えを持つことができる。

【概要】 情報社会における産業構造と職業構造の変化、情報関連職種への就業に必要な基礎知識、および、情報関連分野の業務内容について解説する。その上で、情報関連職種に就業することの実情を多面的に理解させることを通じて、職業適性について考え、職業人としての役割や責任を自覚することの重要性を説く。さらに、職業意識や倫理観、情報関連職種のキャリアパス、専門性の習得など、情報社会における人材育成のあり方について説く。

#### 4DS206 ネットワークとセキュリティ

##### 【到達目標】

- ・ネットワークやセキュリティの基礎知識を習得する。
- ・ネットワークを構築するために必要となる、各種機器の特徴や用途を理解する。
- ・自宅で小規模なネットワークを構築するために必要な、機器の設定技術や簡単なトラブルシューティングの手法を習得する。

【概要】 インターネットをはじめとするコンピュータ・ネットワークについて、基本的な仕組みを理解し、実習を通じてネットワークの基本的な設定の技術を身につける。ネットワーク利用時のセキュリティについてもあわせて学習する。これらの学習は、ネットワークケーブルの作成や PC へのネットワークの設定等の実習を行うことで、より理解が深まる。自宅等のごく小規模なネットワークの構築をできるような技術を身につける。

### ■DS 基礎

#### 4DS301 DS のための微分積分入門 I

##### 【到達目標】

- ・微分と積分の意味、特に微分と積分の関係について理解する。
- ・微分と積分の計算法に習熟する。
- ・微分と積分を具体的な問題に適用するための基礎を学ぶ。

【概要】 データサイエンスの基礎となる微分積分学について学ぶ。微分と積分の意味を理解して基本的な計算法に習熟し、具体的な問題に適用できるようになることを目標として、微分積分の基本事項について解説する。特に、その発見が微分積分学成立の契機となった微分と積分の関係（微分積分学の基本定理）を理解することに重点を置く。文系の学生に

もわかりやすく平易に解説する。

#### 4DS302 DSのための微分積分入門 II

##### 【到達目標】

- ・微分と積分の手法を具体的な現象の分析に活用するための基礎を学ぶ。
- ・1変数関数のテイラー展開の理論や多変数関数の微分と積分の理論の意味を理解し、簡単な計算手法を学ぶ。

【概要】 DSのための微分積分入門 Iの学びを発展させ、自然や社会の現象に現れる平衡状態の記述や様々な最大最小問題などが、微分と積分の概念を用いて表現できることを学ぶ。1変数と多変数の微分と積分の基本的な計算法を習得し、具体的な問題に適用するための基礎手法を学ぶ。微分や積分を含む方程式の意味と簡単な場合の解法を理解する。DSのための微分積分入門 Iで学んだ内容は既知として授業を進める。

#### 4DS303 DSのための線形代数入門 I

##### 【到達目標】

- ・「ベクトル空間」と「行列」という概念について実例を通じて理解する。
- ・「行列」に関する基本的計算技術を習得する。

【概要】 データサイエンスの基礎となる線形代数学について学ぶ。高校で学んだ、平面や空間のベクトルを用いた図形の取り扱い方を発展させた考え方が「線形代数学」であり、この思考法は関連する計算技術とともに、自然科学および社会科学において広く用いられている。この思考法の具体的な表現形式である「数ベクトル空間」や「行列」を中心に、線形代数学の基本的な概念と計算技術について、予備知識を仮定せず、文系の学生にもわかりやすく平易に解説する。

#### 4DS304 DSのための線形代数入門 II

##### 【到達目標】

- ・ベクトル空間の概念を実例を通じて理解し、具体的な計算技術を習得する。
- ・ベクトルの内積に関する基本事項を理解し、簡単な計算が実行できる。

【概要】 高校で学んだ、平面や空間のベクトルを用いた図形の取り扱い方を発展させた考え方が「線形代数学」であり、この思考法に基づく計算技術は、様々なデータの取り扱いや全体的傾向の分析をはじめ、自然・社会科学的現象の分析に広く活用されている。DSのための線形代数入門 Iの学びを発展させ、この「線形代数学」の計算的側面について、様々な応用例に触れつつ、距離を備えた「ベクトル空間」における基本的な計算技術の習得を中心に学ぶ。

#### 4DS305 DSのための確率

#### 【到達目標】

- ・自然科学，人文社会科学を問わず，広くツールとして用いられている統計学の基礎である確率の概念を理解する。
- ・確率の概念に基づく統計的手法が，自然現象や社会現象の理解にどのように利用され，役立っているかを理解する。

【概要】 自然や社会における様々な現象から抽出されたデータを分析する際，統計の考え方は必要不可欠である。まず，統計学の基礎となる確率の概念を理解することから始め，確率分布，条件付き確率，独立確率変数の和の分布，大数の法則，中心極限定理などの確率の理論の概要を学ぶ。そして推定や仮説検定などの統計学の基本的な手法と，それらの応用について学ぶ。予備知識を仮定せず，文系の学生にもわかりやすく平易に解説する。

### 4DS306 DSのための統計

#### 【到達目標】

- ・確率の概念や統計的推定など，統計解析の基本を理解する。
- ・表計算ソフトを用いた，基本的な統計解析ができる。

【概要】 取得した情報の分析のために，統計的データ解析の入門から応用までの講義を行う。観測データからどのようなことが推論付けられるか，またいかにして真に有効な，あるいは有益な情報を抽出することができるかを中心に解説する。統計解析ソフトとしては，普及率の高い Excel を用いる予定である。Excel を用いて，データ解析の方法（データの集計，グラフ化，統計的方法による分析）について実習を行う。

### 4DS307 データ分析

#### 【到達目標】

- ・データサイエンスの分析手法をどのように応用するのかを理解する。
- ・データ分析の有効性と重要性を理解し，基礎的な分析手法を身につける。

【概要】 DS 基礎での学びを発展させ，多変量解析に関する講義を行い，データサイエンスの思考方法を習得させることを目的とする。より専門的な応用事例を取り上げ，文理融合型の研究におけるデータサイエンスの有効性と重要性を理解させるための講義を行う。

### 4DS308 DS 基礎

#### 【到達目標】

- ・データサイエンスの基礎を理解する。
- ・データサイエンスを学ぶ上で必要となる統計の基礎を身につける。

【概要】 データサイエンスの手法を学ぶことに加え，文化現象を対象にデータサイエンスの手法を用いた事例を通し，文理融合型の研究におけるデータ分析の有効性と重要性を学ぶ。生活に必要なデータサイエンスと統計の基礎を身につける。

## ■DE 基礎

### 4DS401 R プログラミング

#### 【到達目標】

- ・プログラミング言語 R を通じて、プログラミングの基本的な概念を身につける。
- ・R 言語を用いて基本的なデータ分析ができる能力を身につける。
- ・簡単なプログラムを作成する知識・技能を習得する。

【概要】 コンピュータに作業させるには、プログラムを書いて実行させる必要がある。プログラムとは何か、プログラムを実行させるとはどのようなことかを、実際に R 言語でプログラムを作成し、結果を確認することで理解する。特に R 言語が得意とする統計解析、データ分析、可視化を中心に実習を交えた講義を行う。

### 4DS402 Python プログラミング

#### 【到達目標】

- ・プログラミング言語 Python を通じて、プログラミングの基本的な概念を身につける。
- ・簡単なプログラムを作成する知識・技能を習得する。
- ・プログラムに用いられるアルゴリズムについての知識を習得する。

【概要】 コンピュータに作業させるには、プログラムを書いて実行させる必要がある。プログラムとは何か、プログラムを実行させるとはどのようなことかを、実際にプログラムを作成し、結果を確認することで理解する。どのような処理を行うプログラムを作成したいか、そのためにはどのような順序で何を書けばよいか、Python を用いてアルゴリズムを考えながら作成する。

### 4DS403 データハンドリングの基礎

#### 【到達目標】

- ・データ構造、データ処理の基礎知識を理解する。
- ・大規模データの前処理、クレンジングを行うための基礎的な能力を習得する。

【概要】 データ分析時に必要となる、データの前処理、クレンジングなど、データ処理の基本的な操作、考え方を実習を交えながら学ぶ。データの基本的な性質をデータ操作の中で体得し、統計学とその適切な活用の重要性を認識させる。コンピュータ操作、データ構造の基礎などに関しても解説する。

## ■AI 基礎

### 4DS501 機械学習の基礎

**【到達目標】**

- ・文理融合型の研究におけるデータサイエンスの分析手法を習得する。
- ・機械学習の基礎を身につける。

**【概要】** DS 基礎での学びを発展させ、機械学習の手法を学ぶ。文化現象を対象としてデータサイエンスの手法を用いた研究事例を概観することで、文理融合型の研究におけるデータサイエンスの有効性と重要性を理解する。

**4DS502 AI・データサイエンス実践****【到達目標】**

- (1) AI やデータサイエンスが社会の中で果たす役割について理解する。
- (2) AI 技術が与える影響について正しく理解する。
- (3) 社会での実例を通じて、私たちに与える両面での影響について理解する。

**【概要】** 本学で提供されている AI・データサイエンス科目を学んだ学生を対象として、企業などと連携して AI 技術を体験し、社会での実例（課題やデータ）を取り入れながら、社会の中で AI やデータサイエンスが果たす役割やその効果、私たちに与える影響などについて学ぶ。データや AI を活用し、それらの企画・実践・評価について、演習や課題解決型学習（PBL）を組み入れた形で授業を展開する。